



マウスポインターは動かせるけれど・・・、

クリックや文字入力に困っている・・・。

クリックアシストはそんな人のために、

マウスポインターを一定時間留めることで、

あるいは1つのボタンを押すだけで、

様々なクリックアクションを可能にするソフトウェアです。

クリックアシストの機能やヘルプの内容等は予告なく変更される場合があります。
最新の情報は弊社 web ページをご参照ください。 <https://ttools.co.jp/>

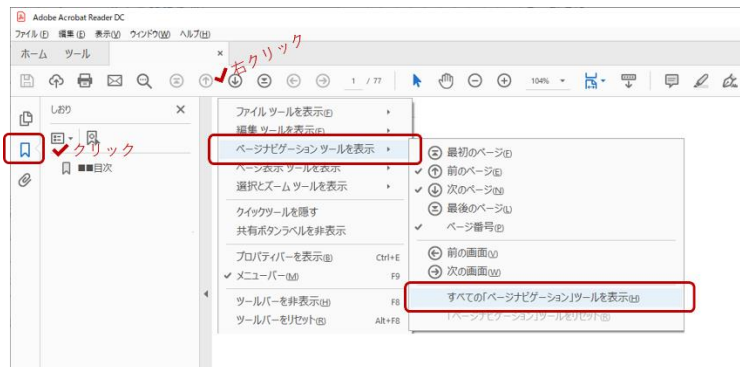
PDF ファイルの目次機能やしおり機能をマウスで利用するには



PDF ファイルをパソコン等の画面で閲覧している場合は、PDF 閲覧アプリの「しおり」機能や「目次」機能で、各項目にジャンプできます。また、アプリによっては「前の画面」「次の画面」などのリンク移動も利用できる場合があります。詳細は、お使いの PDF 閲覧アプリのヘルプをご参照ください。

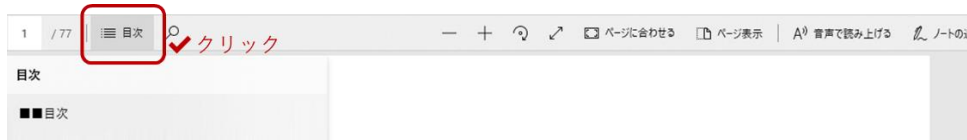
Adobe Acrobat Reader DC の場合

左上にある「しおり」マークを選択すると目次が表示されます。ツールバーを右クリックして「ページナビゲーションツールを表示」の中の「すべてのナビゲーションツールを表示」を選択するとナビゲーションボタンが表示されます。



Microsoft Edge の場合

右上にある「目次」マークを選択すると目次が表示されます。



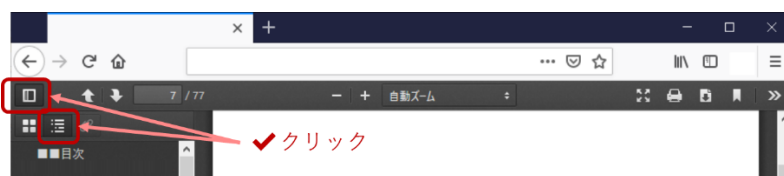
Google Chrome の場合

右上にある「しおり」マークを選択すると目次が表示されます。



FireFox の場合

右上のアイコン「目次」マークを選択すると目次が表示されます。



■■目次

■■目次 3

■■第1部：簡単操作ガイド 5

■ 1. 新機能や修正項目について知ろう！	6
■ 2. 無料版と有料版の違いについて知ろう！	6
■ 3. 10分お試し機能について知ろう！	7
■ 4. 起動してみよう！	8
■ 5. 終了するには？	8
■ 6. 設定変更するには？	8
■ 7. 使ってみよう！	9
■ 8. 操作パネルを確認しよう！	9
■ 9. クリックを実行してみよう！	10
■ 10. マウス表示を確認しよう！	11
■ 11. サブパネルモードを使ってみよう！	12
■ 12. オンスクリーンキーボードを表示してみよう！	13
■ 13. マウス位置リセットってなに？	13
■ 14. 設定ダイアログを表示してみよう！	14
■ 15. 更新プログラムがあるか確認してみよう！	15

■■第2部：リファレンスガイド 19

■ 1. 新機能や修正項目について	20
■ 2. 無料版と有料版の違いについて	20
■ 3. 10分お試し機能について	21
■ 4. 基本操作方法について	22
■ 5. 各アイコンの動作について	23
■ 6. クリック方法について	24
■ 7. マウス表示について	25
■ 8. サブパネルモードについて	26
■ 9. かな50音配列オンスクリーンキーボードについて	29
■ 10. マウス位置リセット機能（ZONO用）について	36
■ 11. 更新プログラムの確認について	38
■ 12. タスクトレイアイコンについて	41
■ 13. 設定ダイアログについて	42
● 簡単設定タブ	43
● マウス動作タブ	44
● パネル表示タブ	45
● 一時停止タブ	46
● サブパネルタブ	47

●その他タブ	47
●その他（バージョン情報表示、有料版登録など）	50
●各種操作ボタン	50
■14. 注意事項について	51
■■第3部：インストールガイド	59
■1. パッケージ版をご購入された方へ	60
■2. 新機能や修正項目について	61
■3. 動作環境	61
■4. ダウンロード版のインストールプログラムのダウンロード	62
■5. インストール手順	62
■6. アンインストール手順	64
■7. 手動起動と自動起動	64
■8. 終了	65
■9. 設定	65
■10. 10分お試し機能について	66
■11. 無料版と有料版の違いについて	67
■■第4部：ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド	69
■1. ライセンスのご購入（ダウンロード版のみ）	70
●1-1.ライセンスを購入する前にご確認ください。	70
●1-2.ライセンスの購入手続き（通常手順）	70
●1-3.クリックアシストをインストールしていないコンピュータからの購入手続き	71
■2. 有料版登録（ライセンス番号の登録）	72
●2-1.ライセンス登録画面を開く	72
●2-2.登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（通常手順）	73
●2-3.登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（パスコード）	74
●2-4.登録するパソコンがインターネットに接続していない場合の手順（特殊手順）	75
●2-5.エラー（このライセンス番号は、別のコンピュータで登録済みです）の場合	77
■3. ライセンス解除機能について	78
■4. ライセンスのリセットの申し込みについて	82
■5. ライセンス登録や解除、更新の確認機能等で送信する情報について	82
■■ソフトウェアの更新履歴	83

■■第1部：簡単操作ガイド

第1部では、クリックアシストを始めるための、簡単な操作ガイドを記載しています。ひとつずつ読み進めていけば、すぐにクリックアシストを使い始めることができます。



ご案内

インストール手順やライセンスの購入手順、登録手順に関するガイドは、

[第3部：インストールガイド](#)

[第4部：ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド](#)

をご参照ください。

※機能の詳細は「[第2部：リファレンスガイド](#)」をご参照ください。

[目次へ戻る](#)

■ 1. 新機能や修正項目について知ろう！

クリックアシストは、必要に応じて更新プログラムが提供されています。更新プログラムは新機能や問題修正が含まれています。このガイドの「[ソフトウェアの更新履歴](#)」の項目を見てどのような新機能が追加されたか確認してみましょう。

■ 2. 無料版と有料版の違いについて知ろう！

ライセンスを登録する前は、無料版としてご利用いただけます。無料版は、有料版の機能のうちいくつかの機能が利用できます。ライセンスをご購入し登録いただくことで、すべての機能が利用できるようになります。ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

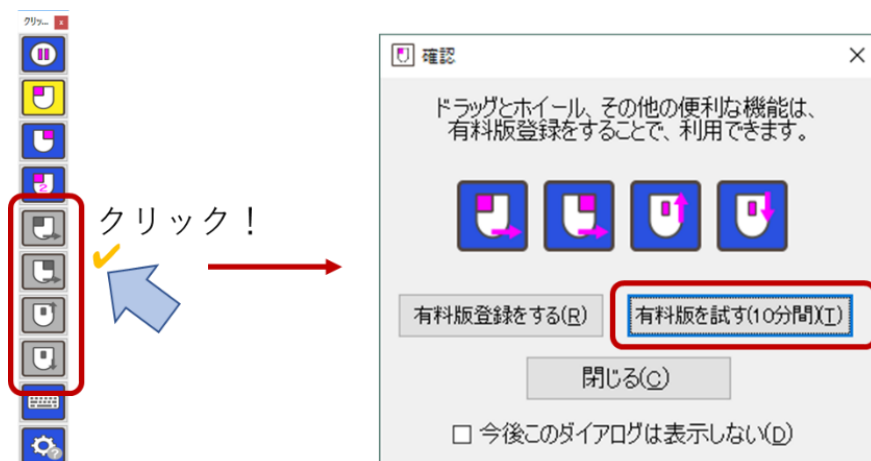
マウス操作・機能		無料版	有料版
マウス操作	一時停止	○	○
	左クリック	○	○
	右クリック	○	○
	左ダブルクリック	○	○
	左ドラッグ		○
	右ドラッグ		○
	ホイール上		○
	ホイール下		○
	キーボード表示 (※次の設定項目もご参照ください)	○	○
	設定 (※次の設定項目もご参照ください)	○	○
	連続操作モードの切替		○
サブパネルモードの切替		○	

設定項目		無料版	有料版
マウス動作	左ボタンでクリック (左ボタン動作も含む)		○
	クリックまでの待機時間の変更	○	○
	クリック待機の有効範囲の変更	○	○
	待機時間の表示の有無の変更		○
	有効範囲の表示の有無の変更		○
	マウスカーソル強調の有無の変更		○
	クリック音を鳴らす設定の変更	○	○
パネル表示	サイズの変更		○
	透明表示の変更		○
	基準位置の変更		○
	スナップ操作の有無の変更		○
	簡易表示の切り替え		○
	閉じるボタンを表示の有無の変更	○	○
	タイトルバーを表示の有無の変更	○	○
	配色の変更	△(※)	○
一時停止	一時停止中の非表示化の設定変更		○
	自動的に一時停止に変更するタイミングの設定変更		○
サブパネル	サブパネルモードの利用の有無		○
	表示時間の変更		○
	クリックマーカを表示の有無の変更		○
	透明度の変更		○
	既定のモードの変更		○
オンスクリーンキーボード	Windows 標準オンスクリーンキーボード	○	○
	かな50音配列オンスクリーンキーボード		○
その他	マウス位置リセット (Zono用) の利用の有無		○
	マウス位置リセットの判定時間の変更		○
	マウス位置リセットの判定距離の変更		○
	起動設定	○	○

(※) 無料版では配色の変更はできますが、クリックアシストを再起動すると標準に戻ります。

■ 3. 10分お試し機能について知ろう！

無料版でお使いの方向けに、有料版の機能を10分間ほど、お試しいただける機能です。操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックすると、確認ダイアログが開きます。「有料版を試す（10分間）」を選択してお試しください。



※ご注意

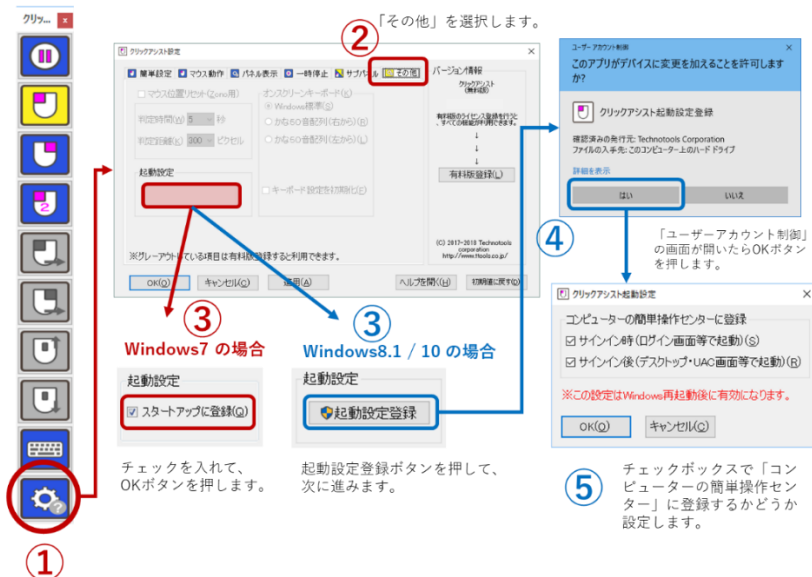
無料版の状態、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックして表示される確認ダイアログについて「今後このダイアログは表示しない」にチェックを入れると、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックしても何も反応しなくなります。再びこのダイアログを表示するには、設定ダイアログで「初期値に戻す」ボタンを押してOKボタンを押してください。

■ 4. 起動してみよう！

手動でクリックアシストを起動する場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューやスタート画面の、アプリの一覧の中からクリックアシストのアイコンを選択して起動します。



自動起動の設定はクリックアシストの設定画面で変更できます。Windows 7では「スタートアップ」に登録してログオン後に自動起動します。Windows 8.1 / 10 / 11では、「コンピュータの簡単操作センター」に登録して自動起動します。「サインイン時」と「サインイン後」の設定ができます。自動機能設定の詳細は、第2部リファレンスガイドの「設定ダイアログについて」の項目を参照してください。



■ 5. 終了するには？

手動で終了する場合は、操作パネルの右上の「×」印をクリックして終了します。または、タスクトレイのアイコンをクリックして「終了」を選択します。



■ 6. 設定変更するには？

各種設定をするには、操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。または、タスクトレイのアイコンをクリックして「設定」を選択します。設定の詳細は、第2部リファレンスガイドの「設定ダイアログについて」の項目を参照してください。



■ 7. 使ってみよう！

クリックアシストは、いくつかのことを覚えれば、だれでも簡単にかつ直感的に様々なマウスクリックを実行することができます。操作パネルやクリックの実行、マウス表示など、便利な機能をひとつずつ確認していきましょう。

(※無料版をお使いの方は、「10分お試し機能」をご利用ください。)


■ 8. 操作パネルを確認しよう！

クリックアシストを起動すると、クリックアシストの操作パネル(メインパネル)が常に最前面に表示されます。

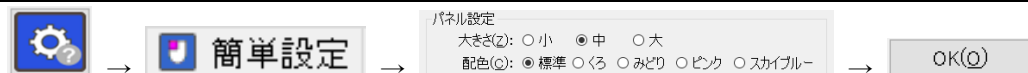
この操作パネルに表示されているアイコンを選択して、お好みのクリックを実行できます。

アイコンを選択するには、次に説明する「クリックを実行するには？」の方法にしたがって、マウスクリックで選択します。

マウスクリック以外にも、クリックアシスト機能を一時的に停止するアイコンや、オンスクリーンキーボードを表示するアイコン、設定ダイアログを表示するアイコンがあります。

一時停止 再開	
サブパネル\ 左クリック	
右クリック	
左ダブルクリック	
左ドラッグ	
右ドラッグ	
ホイール上移動	
ホイール下移動	
キーボード表示	
設定ダイアログ 表示	

操作パネルは、初期値では画面の右側に表示されますが、マウスドラッグでお好み位置に移動できます。また大きさ、配色、などを設定画面で変更できます。



※設定パネルの「パネル表示」タブを選択すると、詳細な設定ができます。

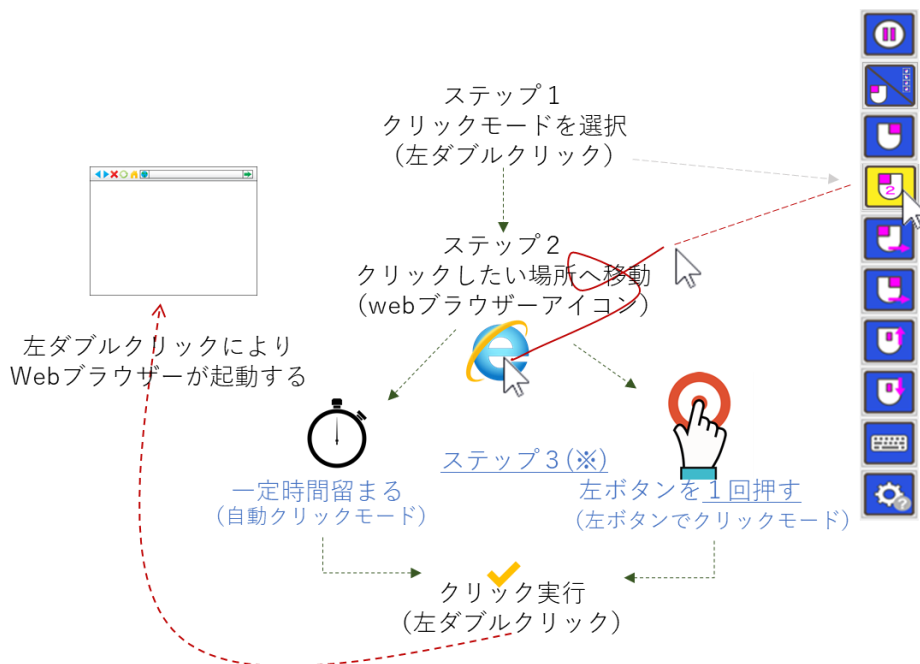
■ 9. クリックを実行してみよう！

クリックの実行は、マウスボタンを利用しない利用者向けの「自動クリックモード」と、左ボタンだけを利用する利用者向けの「左ボタンでクリックモード」の2つのモードが用意されています。

初期値は「自動クリックモード」なので、まずは、マウスを一定時間留まらせて、クリックを実行してみましょう。

	自動クリックモード	左ボタンでクリックモード
対象利用者	マウスボタンを利用しない（押せない）利用者向けの機能です。 クリックを実行したい場所に一定時間留まることで自動的に様々なクリック操作ができます。	左ボタンだけを利用する（押せる）利用者向けの機能です。 クリックを実行したい場所で、左ボタンを押すことで自分のタイミングで、様々なクリック操作ができます。

操作概要	自動クリックモード	左ボタンでクリックモード
ステップ1	操作パネルからクリックモードを選択します。	
ステップ2	クリックしたい場所へ移動します。	
ステップ3★	一定時間その場所に留まります。	利用者が左ボタンを押します。
クリック実行	クリックアシストが自動でクリックを実行します。	

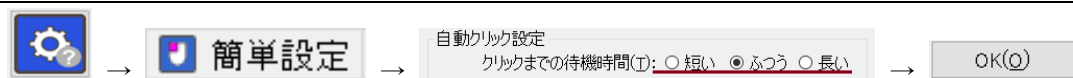


クリック方法は、初期値では「自動クリックモード」が選択されています。「左ボタンでクリックモード」に変更するには設定ダイアログで変更します。



※設定パネルの「マウス動作」タブを選択すると、詳細な設定ができます。

自動クリックの設定は、初期値では、クリックまでの待機時間は「ふつう」が選択されています。お好みに合わせて変更できます。



※設定パネルの「マウス動作」タブを選択すると、詳細な設定ができます。

■ 10. マウス表示を確認しよう！

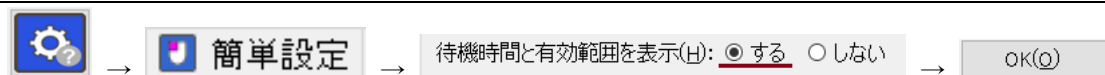
自動クリックの待機時間などマウス操作に関する情報をマウスの場所に常に表示しますので、いつでも直感的にクリック動作の状態を確認できます。

自動クリックモード		マウス強調	左ボタンでクリックモード
待機時間の表示	有効範囲の表示		

重ねて表示した場合の例



マウス表示は、初期値では非表示になっています。お好みに合わせて表示できます。



※設定パネルの「マウス動作」タブを選択すると、詳細な設定ができます。

■ 1 1. サブパネルモードを使ってみよう！

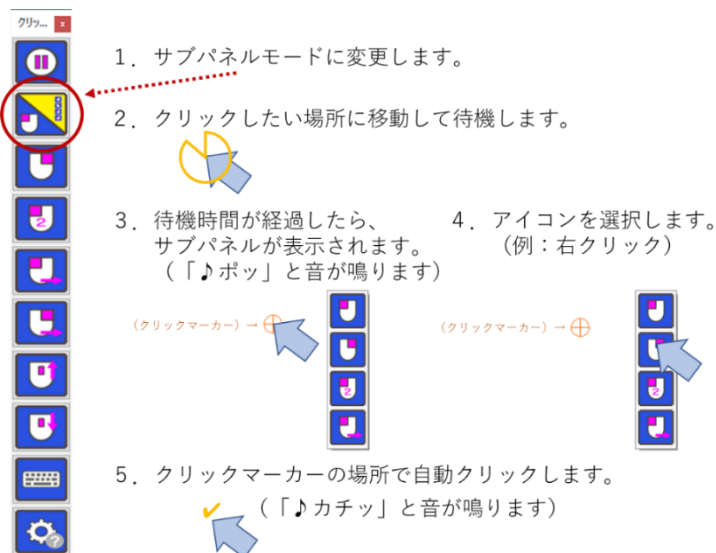
サブパネルを選択するとクリックしたい位置に移動してから、クリック動作を選択できるので、より直観的なマウス操作ができます。

	サブパネルモード	通常モード
ステップ1	クリックしたい場所へ移動します	操作パネルから クリックモードを選択します
ステップ2	サブパネルから クリックモードを選択します	クリックしたい場所へ移動します
クリック実行	クリックアシストが自動でクリックを実行します	

	左クリック
	右クリック
	左ダブルクリック
	ドラッグ

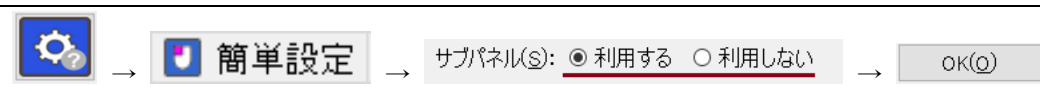
キャンセル	その場で数秒待機すると（初期値では5秒）、自動でキャンセルとなります。
別の場所をクリック	サブパネルを選択せずに、別の場所へ移動すると移動した場所で、再びサブパネルが開きます。

（各アイコンを選択したときの動作は、操作パネルのアイコンを選択したときと同様です）



1. サブパネルモードに変更します。
2. クリックしたい場所に移動して待機します。
3. 待機時間が経過したら、サブパネルが表示されます。（「♪ポッ」と音が鳴ります）
4. アイコンを選択します。（例：右クリック）
5. クリックマーカーの場所で自動クリックします。（「♪カチッ」と音が鳴ります）


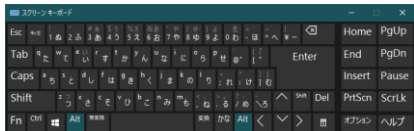

サブパネルモードは、初期値で利用可能です。設定変更で無効にすることもできます。




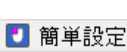
※設定パネルの「サブパネル」タブを選択すると、詳細な設定ができます。

■ 1 2. オンスクリーンキーボードを表示してみよう！

メインパネルのキーボード表示アイコンからオンスクリーンキーボードを表示できます。Windows 標準のスクリーンキーボードまたは、クリックアシストの50音配列キーボードが選択できます。

アイコン	Windows 標準スクリーンキーボード	かな50音配列キーボード
		

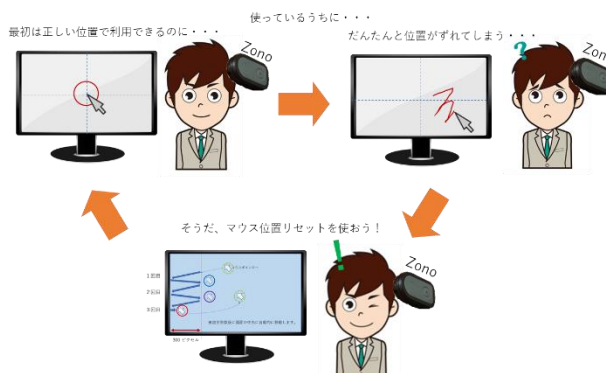
初期値では Windows 標準のスクリーンキーボードが表示されます。お好みで、かな50音配列キーボードに変更することができます。

 →  簡単設定 → オンスクリーンキーボード(K): Windows標準 かな50音配列(右から) →

※設定パネルの「その他」タブを選択すると、詳細な設定ができます。



■ 1 3. マウス位置リセットってなに？

マウス位置リセットは、Zono 専用の機能です。Zono を利用していると、だんだんとマウスの基準位置がずれてしまうことがあります。その場合に、一定の操作をすることで、基準位置を合わせ直すことができる機能です。



マウス位置リセットの詳細は第2部リファレンスガイドの「[マウス位置リセット機能\(Zono 用\)について](#)」を参照してください。

マウス位置リセットは、初期値は利用しないになっています。利用する場合は、設定変更を行ってください。

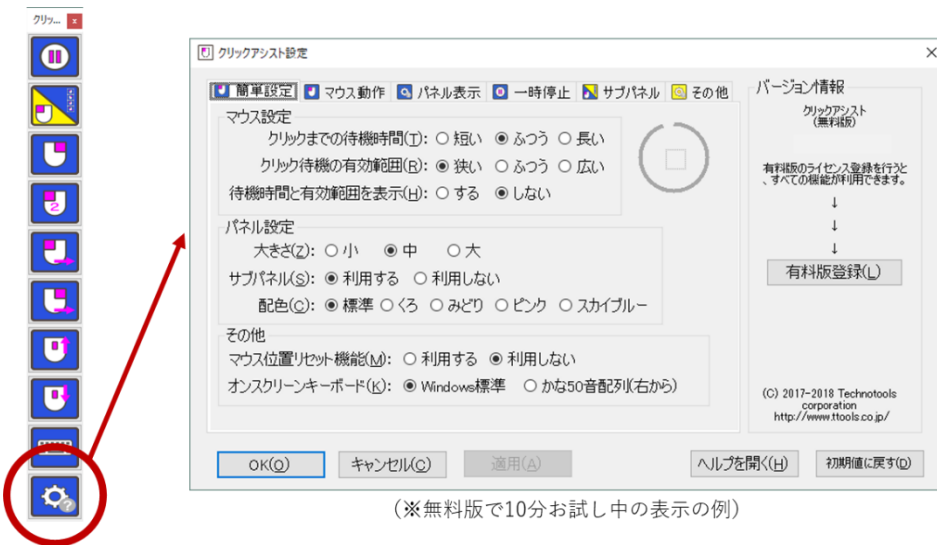
 →  簡単設定 → マウス位置リセット機能(M): 利用する 利用しない →

マウス位置リセット機能を利用する際は、「マウス位置リセット」機能をご理解の上、「利用する」に設定してください。

■ 1 4. 設定ダイアログを表示してみよう！

メインパネルのアイコンから設定ダイアログを開くことができます。利用者の好みに合わせた各種設定ができます。ライセンスの登録解除、更新の確認等も設定ダイアログから行います。

※設定ダイアログの詳細は、第2部リファレンスガイド「設定ダイアログについて」を参照してください。



クリックアシスト設定は、タブ表示によって6つのグループに分かれています。また、タブとは別に、バージョン情報等の情報を表示しています。

タブ	設定項目の概要
簡単設定タブ	主な設定を簡単に設定することができます。
マウス動作タブ	マウスの動作や表示に関する設定ができます。
パネル表示タブ	操作パネルの表示に関する設定ができます。
一時停止タブ	一時停止に関する動作の設定ができます。
サブパネルタブ	サブパネルの利用の有無や動作の設定ができます。
その他タブ	マウス位置リセット（Zono 用）設定、オンスクリーンキーボード設定、起動設定、の各種設定ができます。
その他	バージョン情報表示、有料版登録、各種操作ボタン

(※無料版状態では、一部の設定のみ利用できます。詳細は「無料版と有料版の違いについて知ろう！」をご参照ください。なお、10お試し機能ですべての機能がお試しいただけます。)

■ 15. 更新プログラムがあるか確認してみよう！

更新プログラムの有無を確認し、更新プログラムがあれば、その場でダウンロードして更新プログラムをインストールすることができます。

更新の確認はインターネットに接続して、更新状況を確認します。パソコンがインターネットに接続されていないと更新の確認はできません。その場合は、接続できないというエラーが表示されます。なお、更新の確認機能では、不正使用防止のため、ライセンスの登録状況も併せて確認いたします。あらかじめご了承ください。

次の手順で更新の確認をすることができます。

※あらかじめインターネットに接続されていることをご確認ください。

1. メインパネルの設定（歯車マーク）を選択して設定パネルを開きます。
2. 右側に「更新の確認」ボタンがあるかご確認ください。
（※ない場合）クリックアシストがダウンロード版で、かつ、バージョンがV2.1.2より古い可能性があります。最新のバージョンをダウンロードしてインストールしてください。
3. 右側にある「更新の確認」ボタンをクリックします。
4. ダイアログが表示されて、最新の状態です。または更新プログラムがありますといったメッセージをご確認ください。
5. 「更新があります」と表示されている場合は、「今すぐ更新」ボタンが利用できます。ボタンを押してください。ダウンロードダイアログが表示されます。
6. ダウンロードが完了したら「今すぐ更新プログラムを実行」を押して更新プログラムをインストールしてください。

なお、ご自身で確認する以外には、クリックアシストを起動するときに、更新プログラムの有無を定期的に確認し、更新があれば、お知らせする機能があります。

バージョン情報
クリックアシスト
(有期限)
V 2.12.0

更新の確認(U)

バージョン情報を確認してください。
もしV2.1.2より古い場合は、最新のバージョンをダウンロードして、上書きインストールしてください
最新のバージョンは下記のダウンロードページからダウンロードしてください。
<http://www.ttools.co.jp/clickassist/download.html>

更新がある場合 (4) 最新の場合

更新プログラムがあります。
現在のバージョン:
最新のバージョン:

今すぐ更新(U)

更新情報を確認(R)

閉じる(C)

最新の状態です。
そのままお使いください。
現在のバージョン:-----

更新情報を確認(R)

閉じる(C)

100% クリックアシスト更新プログラム ファイルのダウンロード

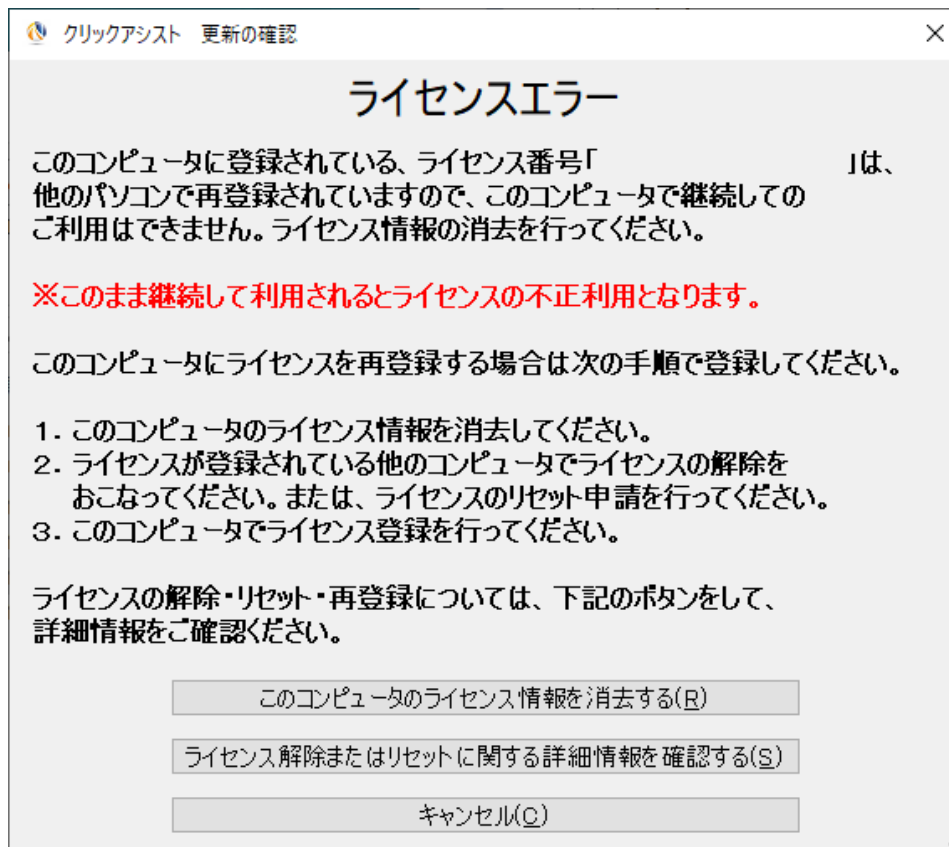
ダウンロードが完了しました。「今すぐ更新プログラムを実行」ボタンを押してください。

保存先: C:\Users\ohgane\Downloads\ClickAssist211_inst.exe

フォルダを開く 今すぐ更新プログラムを実行 キャンセル

インストールプログラムが起動します

更新の確認を行った時に、下記のような「ライセンスエラー」ダイアログが表示された場合は、他のパソコンで同じライセンス番号が登録されている可能性があります。画面の指示に従って、再度、ライセンス登録をやり直していただくようお願いいたします。



- このダイアログの「キャンセル」ボタンを選択すると、いったん、このダイアログを閉じてライセンスに関する処理を保留することができます。
- このダイアログの「このコンピュータのライセンス情報を消去する」のボタンを選択すると、すぐに無条件にライセンス情報を消去しますのでご注意ください。
- ライセンスの解除やリセットについては、このダイアログの「ライセンスの解除またはリセットに関する詳細情報を確認する」のボタンをおして web 情報を確認するか、このヘルプの「[第4部ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド](#)」をご参照ください。



■■第2部：リファレンスガイド

第2部は、リファレンスガイドです。クリックアシストの機能の詳細は設定項目に関する詳細を記載しています。必要に応じてご参照ください。



ご案内

インストール手順やライセンスの購入手順、登録手順に関するガイドは、

[第3部：インストールガイド](#)

[第4部：ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド](#)

をご参照ください。

※機能の概要を知るには「[第1部：簡単操作ガイド](#)」をご参照ください。

[目次へ戻る](#)

■ 1. 新機能や修正項目について

クリックアシストは、必要に応じて更新プログラムが提供されています。更新プログラムは新機能や問題修正が含まれています。このガイドの「[ソフトウェアの更新履歴](#)」の項目を見てどのような新機能や修正項目があるかなどについて確認ください。

■ 2. 無料版と有料版の違いについて

ライセンスを登録する前は、無料版としてご利用いただけます。無料版は、有料版の機能のうちいくつかの機能が利用できます。ライセンスをご購入し登録いただくことで、すべての機能が利用できるようになります。ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

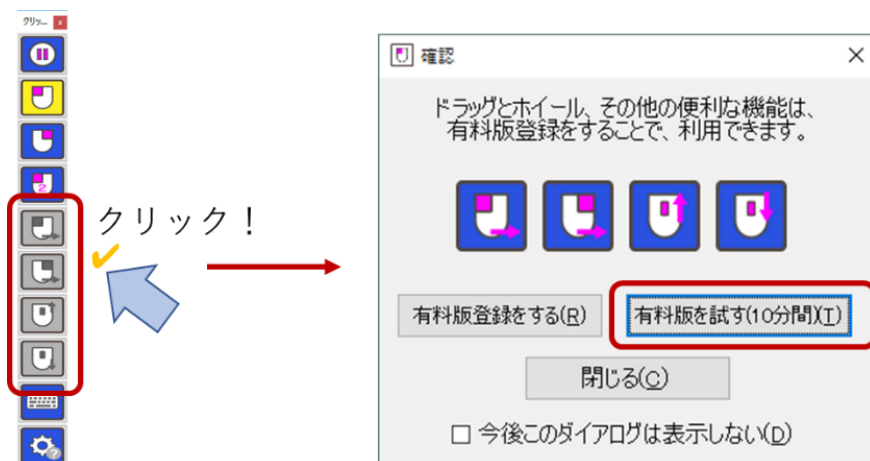
マウス操作・機能		無料版	有料版
マウス操作	一時停止	○	○
	左クリック	○	○
	右クリック	○	○
	左ダブルクリック	○	○
	左ドラッグ		○
	右ドラッグ		○
	ホイール上		○
	ホイール下		○
	キーボード表示 (※次の設定項目もご参照ください)	○	○
	設定 (※次の設定項目もご参照ください)	○	○
	連続操作モードの切替		○
	サブパネルモードの切替		○

設定項目		無料版	有料版
マウス動作	左ボタンでクリック (左ボタン動作も含む)		○
	クリックまでの待機時間の変更	○	○
	クリック待機の有効範囲の変更	○	○
	待機時間の表示の有無の変更		○
	有効範囲の表示の有無の変更		○
	マウスカーソル強調の有無の変更		○
	クリック音を鳴らす設定の変更	○	○
パネル表示	サイズの変更		○
	透明表示の変更		○
	基準位置の変更		○
	スナップ操作の有無の変更		○
	簡易表示の切り替え		○
	閉じるボタンを表示の有無の変更	○	○
	タイトルバーを表示の有無の変更	○	○
	配色の変更	△(※)	○
一時停止	一時停止中の非表示化の設定変更		○
	自動的に一時停止に変更するタイミングの設定変更		○
サブパネル	サブパネルモードの利用の有無		○
	表示時間の変更		○
	クリックマーカを表示の有無の変更		○
	透明度の変更		○
	既定のモードの変更		○
オンスクリーンキーボード	Windows 標準オンスクリーンキーボード	○	○
	かな50音配列オンスクリーンキーボード		○
その他	マウス位置リセット (Zono用) の利用の有無		○
	マウス位置リセットの判定時間の変更		○
	マウス位置リセットの判定距離の変更		○
	起動設定	○	○

(※) 無料版では配色の変更はできますが、クリックアシストを再起動すると標準に戻ります。

■ 3. 10分お試し機能について

無料版でお使いの方向けに、有料版の機能を10分間ほど、お試しいただける機能です。操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックすると、確認ダイアログが開きます。「有料版を試す(10分間)」を選択してお試しください。

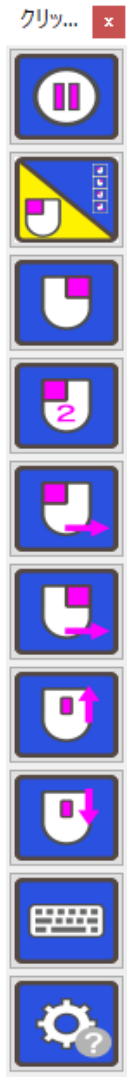


※ご注意

無料版の状態、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックして表示される確認ダイアログについて「今後このダイアログは表示しない」にチェックを入れると、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックしても何も反応しなくなります。再びこのダイアログを表示するには、設定ダイアログで「初期値に戻す」ボタンを押してOKボタンを押してください。

■ 4. 基本操作方法について

クリックアシストの操作はとても簡単です。4つの基本操作を覚えるだけで、すぐにご利用いただけます。

<p>操作パネルの表示</p>	<p>クリックアシストを起動すると、右の図のような操作パネルが表示されます。 常に最前面に表示されるので、いつでもクリックアシストの操作をすることができます。 タイトルバーをドラッグして移動することもできます。ドラッグで移動した場合は、次回からは、移動した場所に表示されます。</p>	<p>ライセンス登録済みの場合の表示</p> 
<p>クリックを実行する</p>	<p>まず、ポインティングデバイスを使用して、画面のクリックしたい場所へ移動します。 つぎに、一定時間（初期値1.5秒）その場所に留まっていると自動的にクリックします。</p>	
<p>モードを変更する</p>	<p>クリックと同じ要領で、ポインティングデバイスを使用して、変更したいモードのアイコンに移動します。 そして、一定時間（初期値1.5秒）その場所に留まっていると自動的に選択されます。選択されるとアイコンの色が「青色」から「黄色」に変わります。 モード変更してからクリックを実行すると、自動的に「左クリック」にモードが戻ります。</p>	
<p>連続操作モードに変更する</p>	<p>連続操作モードとは、同じクリック動作を連続して行いたいときに利用します。 まず、モード変更と同じ要領で、モード変更を行い、アイコンの色が「黄色」に変わることを確認します。 つぎに、もう一度「黄色」になっているアイコンをクリックと同じ要領で選択します。（マウスを動かさずにその場に留まっても同じ効果となります） すると、アイコンの左下に「鍵」マークが表示されて、連続操作モードになっていることがわかります。 連続操作モードになっているときは、クリックを実行しても「左クリック」には戻りません。 連続操作モードを解除するには、「左クリック」などの別のアイコンを選択します。</p>	

■ 5. 各アイコンの動作について

アイコンは全部で10個です。アイコンを見ただけで、直観的に選択して操作できます。なお、無料版状態の場合は、一部のアイコンのみ利用できます。詳細は「無料版と有料版の違い」をご参照ください。

	一時停止と再開	選択するとクリック動作を一時停止します。再開する場合は、再開アイコン () を選択します。
	サブパネル 左クリック	左クリック：左クリックを自動的に行います。 サブパネル：サブパネルを表示します。 (詳細は「15. サブパネルモード」を参照) ※サブパネルモードを OFF にした場合、および無料版は、左クリックアイコン () のみ表示されます。
	右クリック	右クリックを自動的に行います。
	ダブルクリック	左ダブルクリックを自動的に行います。
	左ドラッグ	左ドラッグ、または、右ドラッグを行います。 1回目のクリックでドラッグが開始されます。この時アイコンの色は「黄色」から「橙色」に変わります。 2回目のクリックでドラッグが終了します。この時アイコンの色は「橙色」から「青色」に戻ります。
	右ドラッグ	
	上ホイール	ホイールを上または下に動かします。 ホイールを使った、1回のスクロール量はWindowsのマウス設定で変更します。
	下ホイール	
	キーボード	「Windows 標準」または「かな 50 音配列」のオンスクリーンキーボードを起動します。再度選択すると最小化します。
	設定とヘルプ	設定ダイアログを開きます。ヘルプ (web ページ) は設定ダイアログからアクセスします。

■ 6. クリック方法について

お好みに合わせて、次のクリック方法を選択することができます。





設定ダイアログの中の「マウス動作」タブの「クリック方法」で設定できます。

自動クリック	<p>マウスボタンを利用しない（押せない）利用者、たとえば、マウスポインターは動かせるけれど、マウスボタンを押すことができない場合は、自動クリックがお勧めです。</p> <p>クリックアシストは、クリックしたい場所に一定時間留まることで自動的にクリックを実行します。このモードでは、利用者はマウスボタン等を押す必要はありません。</p>
左ボタンでクリック	<p>左ボタンのみ利用する（押せる）利用者、たとえば、マウスボタンは押せるけれど、1つのボタンしか押せない場合や、ダブルクリックやドラッグなどが難しい場合は、左ボタンでクリックがお勧めです。</p> <p>クリックアシストは、利用者が左ボタンを押したときにクリックを実行します。このモードでは、利用者は自分のタイミングでクリックを実行することができます。</p> <p>左ボタンでクリックを選択した場合は、クリックを実行するタイミングを「押したとき」と「離れたとき」のいずれかがを選択できます。また、離れたときに設定しているとき、一定の時間の秒数以上、押されていない場合は無効と判断するように設定することができます。</p>

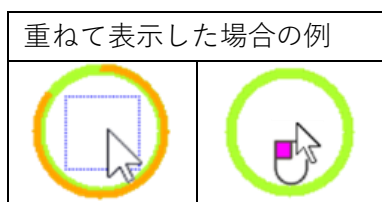
■ 7. マウス表示について

お好みに合わせて、マウス位置に次のような情報を表示することができます。

設定ダイアログの中の「マウス動作」タブの「マウス表示設定」で設定できます。

待機時間の表示	自動クリックまでの時間を円グラフのアニメーションで表示して、視覚的にわかりやすく表示します。	
有効範囲の表示	自動クリックモードで、待機時間が有効となるマウスの震えなどの許容範囲を四角形の点線で視覚的にわかりやすく表示します。	
マウス強調	画面のどこにマウスがあるのか視覚的にわかりやすいように円で表示して強調します。	
左ボタンアイコン	左ボタンでクリックが選択されていることを示すために表示します。	

待機時間、有効範囲、マウス強調をそれぞれ有効すると、ある程度区別ができるように、重なり合って表示されます。クリック方法で「左ボタンでクリック」が選択されている場合は、左ボタンアイコンのみが有効になります。自動クリックが選択されている場合には左ボタンアイコンは無効になります。



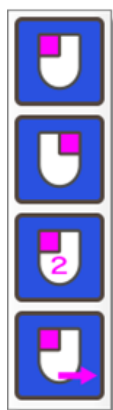
■ 8. サブパネルモードについて

サブパネルモードとは？

サブパネル機能を利用するとクリックしたい位置に移動してから、クリック動作を選択することができます。従来のクリック操作を決めてからクリックしたい位置に移動するよりも、より直観的に操作をすることができます。

従来モード	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリック動作を選択する。 2. クリックしたい位置へ移動する。
サブパネルモード	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリックしたい位置へ移動する。 2. クリック動作を選択する。


サブパネルで選択できるクリック動作は次の通りです。動作はメインの操作パネルを選択したときと同様に動作します。



左クリック	左クリックを自動的に行います。
右クリック	右クリックを自動的に行います。
左ダブルクリック	左ダブルクリックを自動的に行います。
ドラッグ	左ドラッグを行います。




キャンセル	その場で数秒待機すると（初期値では5秒）、自動でキャンセルとなります。
別の場所をクリック	サブパネルを選択せずに、別の場所へ移動すると移動した場所で、再びサブパネルが開きます。

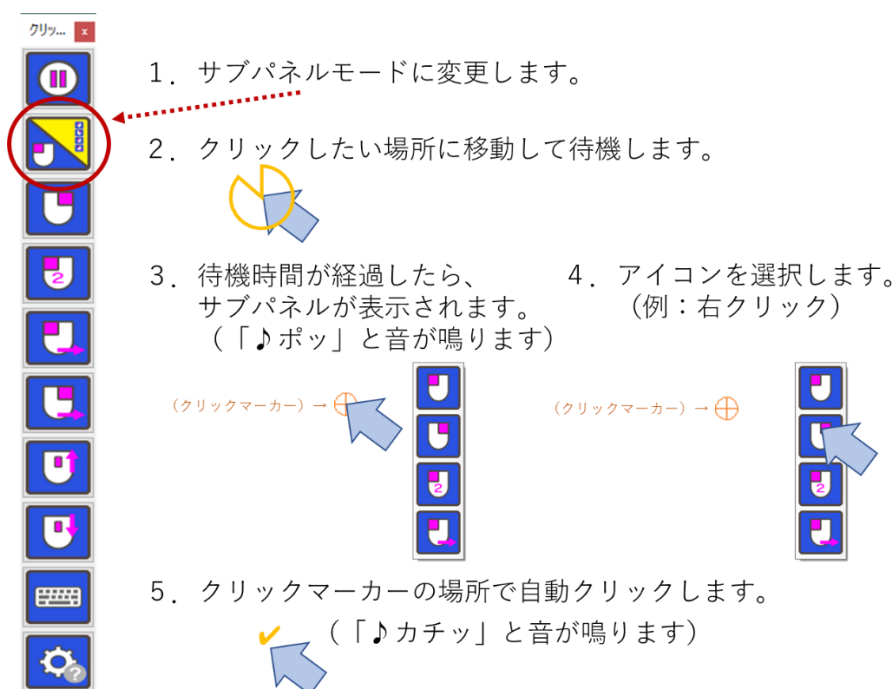
サブパネルモード利用の準備

メインの操作パネルに、() 左クリックとサブパネルのアイコンが両方あり斜めの線で区切られているアイコンが表示されていることを確認します。このアイコンが表示されていない場合は、設定の中の「サブパネル」で、「サブパネルモードを利用する」のチェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンを押してください。

(※無料版では、サブパネルモードは利用できません。10分お試し機能でご確認ください。)

サブパネルモードの利用

1.  アイコンを選択して、サブパネルモードに変更します。=> 
2. クリックしたい位置に移動して待機します。
3. クリックまでの待機時間が経過するとサブパネルが表示されます。(下記の図を参照)
 - 表示するときに「♪ポッ」と音が鳴ります。
 - クリックする場所に「クリックマーカー」が表示されます。()
 - 表示位置はクリック待機有効範囲の設定を参照して自動で決定されます。
4. サブパネルに表示されたアイコンの中から、操作したいアイコンまで移動して、待機します。
5. クリックまでの待機時間が経過すると、クリックマーカーの場所を自動的にクリックします。



別の場所をクリックしたい場合

サブパネルが開いた後、その場所でなく別の場所をクリックしたい場合は、サブパネルを選択せずに、別の場所へ移動して、待機してください。その場所で再びサブパネルが開きます。

キャンセルしたい場合

動作をキャンセルしたい場合は、移動せずにその場で数秒待機すると（初期値では5秒）、自動でキャンセルとなり、サブパネルとクリックマーカーが閉じます。

サブパネルモードの設定

サブパネルモードは設定ダイアログで動作を変更することができます。詳細は「設定ダイアログについて」の中の「サブパネル」の項目を参照してください。

注意点

サブパネルモードで設定パネルを開くと、お知らせダイアログが表示されて、自動的に左クリックモードに変更されます。設定ダイアログではサブパネルモードは利用できませんのであらかじめご了承ください。

サブパネルモードでは、クリックアシストの、メイン操作パネルのタイトルバーや、閉じるボタンは操作することができません。それら进行操作したい場合は、左クリックモードに変更してからご利用ください。

■ 9. かな50音配列オンスクリーンキーボードについて

Windows 標準のオンスクリーンキーボードの代わりに、日本語の50音配列の「かな50音配列のオンスクリーンキーボード」を利用することができます。親しみのある50音配列なので、素早く簡単に入力することができます。50音の並びを「右から」または「左から」を選択することができます。また、英字入力キーボードに切り替えて英字を入力することもできます。

かな50音配列キーボード（右から）



かな50音配列キーボード（左から）



英字キーボード



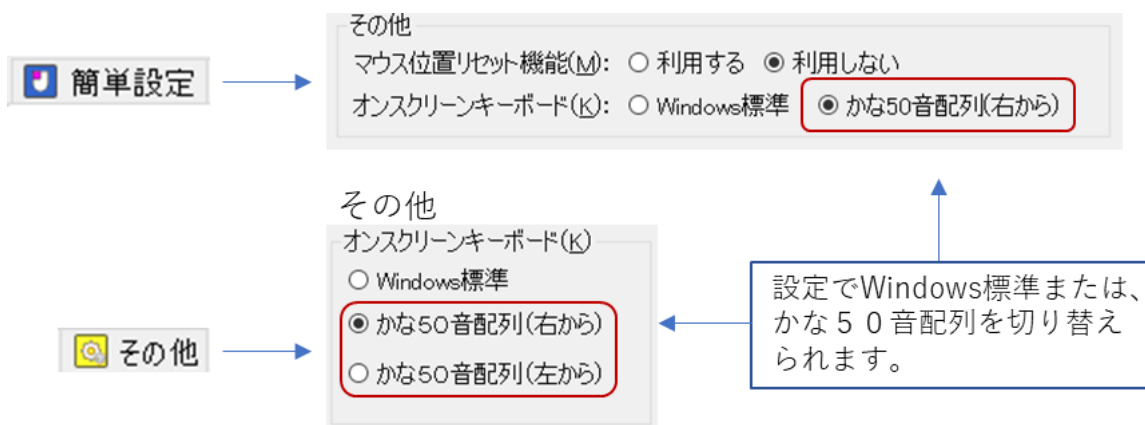
かな50音配列のオンスクリーンキーボードの準備

設定の中の「その他」の「オンスクリーンキーボード」から、「かな50音配列（右から）」または「かな50音配列（左から）」を選択して、OK ボタンを押してください。

※注意1：IMEの入力モードは「ローマ字入力」のままご利用ください。

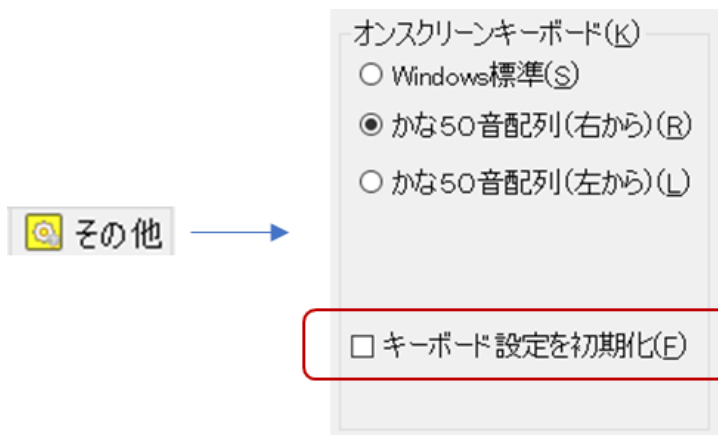
※注意2：「以前のバージョンのIMEを使う」の設定が必要な場合があります。「ローマ字入力」なのに正しく入力できない場合は、Windowsの「設定」で「以前のバージョンのIMEを使う」の設定にしなければならない場合があります。その場合は、設定の中の「その他」の中の「オンスクリーンキーボード」の中の「以前のバージョンのIMEを使うの設定をする」のボタンを押して設定をしてください。

(※無料版では、かな50音配列のオンスクリーンキーボードは利用できません。10分お試し機能でご確認ください。)



キーボードが正しく表示されない場合

キーボードが正しく表示されない場合は、設定の中の「その他」の「オンスクリーンキーボード」の中の「キーボード設定を初期化」のチェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンを押してください。キーボード設定が初期化されます。



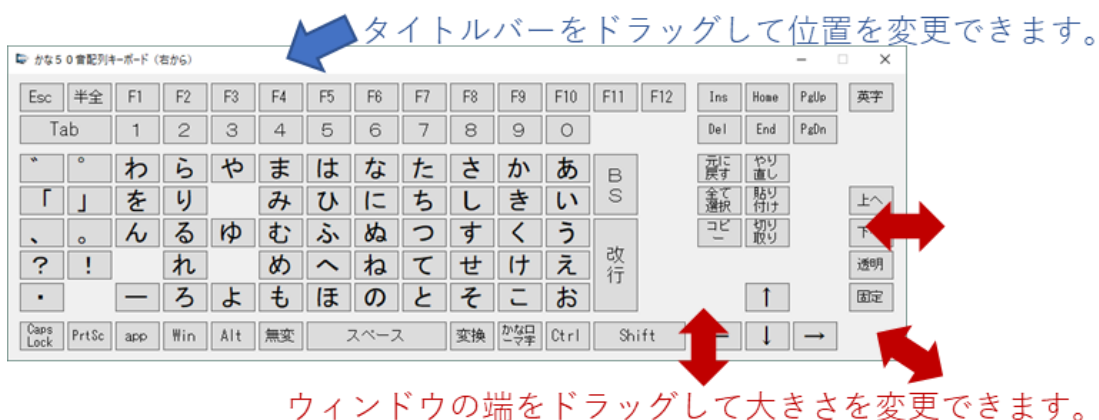
キーボードの表示

メインパネルの「キーボード」アイコンを選択すると、Windows 標準オンスクリーンキーボードの代わりに「かな50音配列オンスクリーンキーボード」が表示されます。



キーボードの移動や大きさの変更

キーボードの移動や大きさの変更は一般的なウィンドウ操作と同様です。キーボードを移動する場合は、キーボード上部のタイトルバーをドラッグしてください。また、キーボードの大きさを変更する場合は、キーボードの四隅またはウィンドウの端をドラッグしてください。キーボードの大きさを変更すると自動的にキーの大きさや文字の大きさが変更されます。



かな入力

キーボード上のかな文字のキーをクリックすることで、かな入力することができます。小さい文字は、シフトキーを選択してから、かなキーをクリックしてください。濁点や半濁点は、かな文字を入力してから濁点または半濁点をクリックしてください。小さい文字、濁点半濁点の入力は、通常のキーボードと同様の入力となります。

※注意：IMEの入力モードは「ローマ字入力」のままご利用ください。



英字の入力







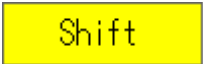





英字を入力する場合は、右上隅にある「英字」をクリックしてください。英字キーボードが表示されます。キーボード上の英字や記号のキーをクリックすることで、英字や記号を入力することができます。かな50音配列に戻る場合は、右上隅にある「かな」をクリックしてください。



切替キーのロック

Alt キー、Ctrl キー、Shift キー、Win キーは、同時押しのため、キーロック機能が働きます。1回クリックすると1文字だけ有効になりキーロックが解除されます。2回クリックすると、再度クリックするまでキーロックが続きます。3回クリックすると、キーロックが解除されます。



クリックの回数	1回目のクリック	2回目のクリック	3回目のクリック
状態の説明	<p>キーの背景色が、黄色になります。</p> <p>キーロックは1文字だけ有効です。</p> <p>この状態で、他のキーを1文字入力するとキーロックは解除されます。</p>	<p>キーの背景色が、紫色になります。</p> <p>キーロックは継続します。</p> <p>この状態で、他のキーを何回押しても、キーロックは継続されます。</p>	<p>キーの背景色が、灰色に戻ります。</p> <p>キーロックが解除されます。</p> <p>キーロックが解除されて、通常の入力ができるようになります。</p>
Alt キー			
Ctrl キー			
Shift キー			
Windows キー			

その他の機能キー



	キー	機能
編集操作	元に戻す	Ctrl+Z を送信します。
	やり直し	Ctrl+Y を送信します。
	全て選択	Ctrl+A を送信します。
	貼り付け	Ctrl+V を送信します。
	コピー	Ctrl+C を送信します。
	切り取り	Ctrl+X を送信します。
キーボードの移動等	上へ	キーボードを画面の上部に移動します。
	下へ	キーボードを画面の下部に移動します。
	透明	キーボードを一時的に透明表示します。
	固定	キーボードを画面下部に固定表示します。

かな50音配列オンスクリーンキーボード利用時の注意点

IMEの入力モードは「ローマ字入力」のままご利用ください。IMEの入力が「かな入力」の場合、正しく入力できない場合があります。

「以前のバージョンのIMEを使う」の設定が必要な場合があります。「ローマ字入力」なのに正しく入力できない場合は、Windowsの「設定」で「以前のバージョンのIMEを使う」の設定にしなければならない場合があります。その場合は、設定の中の「その他」の中の「オンスクリーンキーボード」の中の「以前のバージョンのIMEを使うの設定をする」のボタンを押して設定をしてください。

キーボード入力を監視するようなプログラムとの併用は避けてください。キーボード入力を監視するようなプログラムを併用していると、かな入力と英字入力の切替ができなくなることがあります。

キーボード入力を監視するようなプログラムの例

- タスクバーに常駐してホットキー機能（特定のキーを押すと特定のアプリを起動する等）を提供するプログラムなど
- CapsLock、NumLock、ScrollLock 等の切替キーを監視や制御するプログラムなど

キーボードの設定（ドライバー）は、日本語の109キーボードに設定してください。それ以外のキーボード設定では、正しく動作しない場合があります。特に英語キーボードを接続していたり、英語のキーボード設定（ドライバー）が設定していたりすると、正しく入力することができません。

IMEの入力モードが「かな入力」になってしまい、英字入力ができなくなってしまった場合は、「Alt」 + 「ひらがな」キー、または「Shift」 + 「Ctrl」 + 「ひらがな」キーで、入力モードをローマ字入力に戻してください。

日本語が入力できる実際のキーボードを接続していない場合は、正しく入力できないことがあります（日本語のキーボードが接続されていない場合だと、Windowsが日本語用のキーボードのキーコードを受け付けません）。

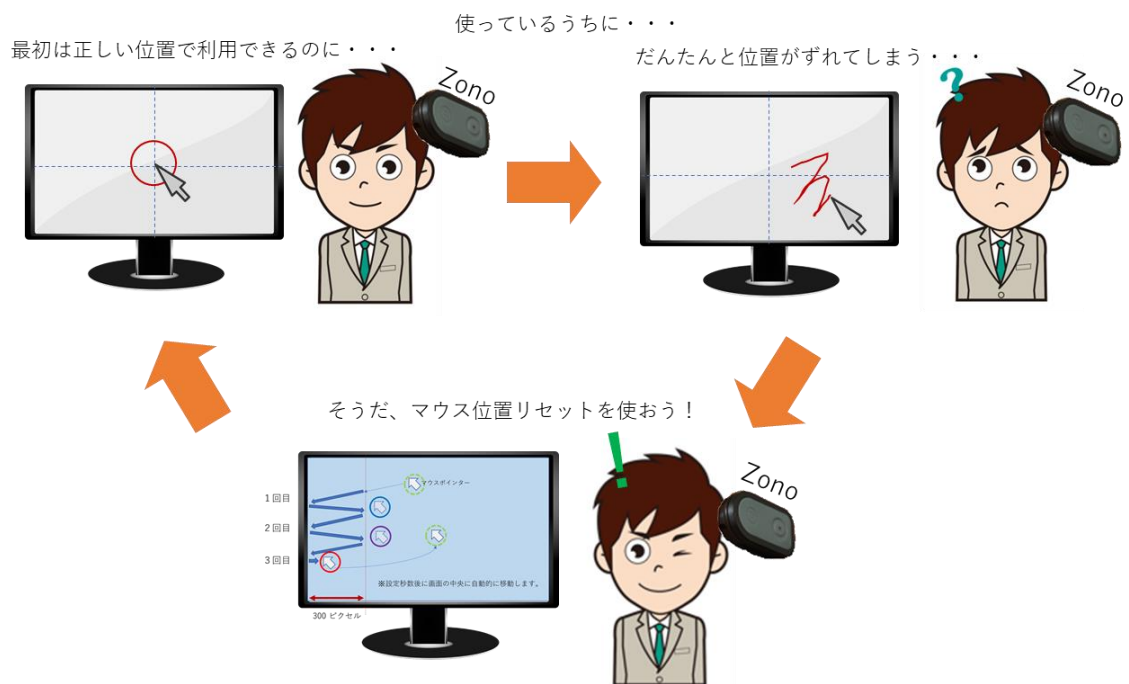
設定ダイアログやクリックアシストのメッセージダイアログと、かな50音配列オンスクリーンキーボードが重なると、キーボードが操作できなくなることがあります。その場合は、クリックアシストのキーボードアイコンで、一旦キーボードを閉じてから操作をしてください。なお、この問題を回避するため、設定ダイアログを開くと、かな50音配列オンスクリーンキーボードは自動的に最小化されます。

■ 10. マウス位置リセット機能（Zono用）について

Zono を利用していると、だんだんとマウスの基準位置がずれてしまうことがあります。
例えば・・・、

最初は、正面に頭を向ければ画面の中央にマウスが移動することができたのに、利用している間に、だんだんと位置がずれてしまい、頭を正面に向けても、マウスが画面の中央に移動せず、右や左、上や下にずれてしまった・・・。

ということが発生してしまいます。このような場合に、このマウス位置リセット機能で、一定の操作をすると、正面に頭を向ければ画面の中央にマウスが移動するように、位置を合わせ直すことができます。



マウス位置リセット機能の準備

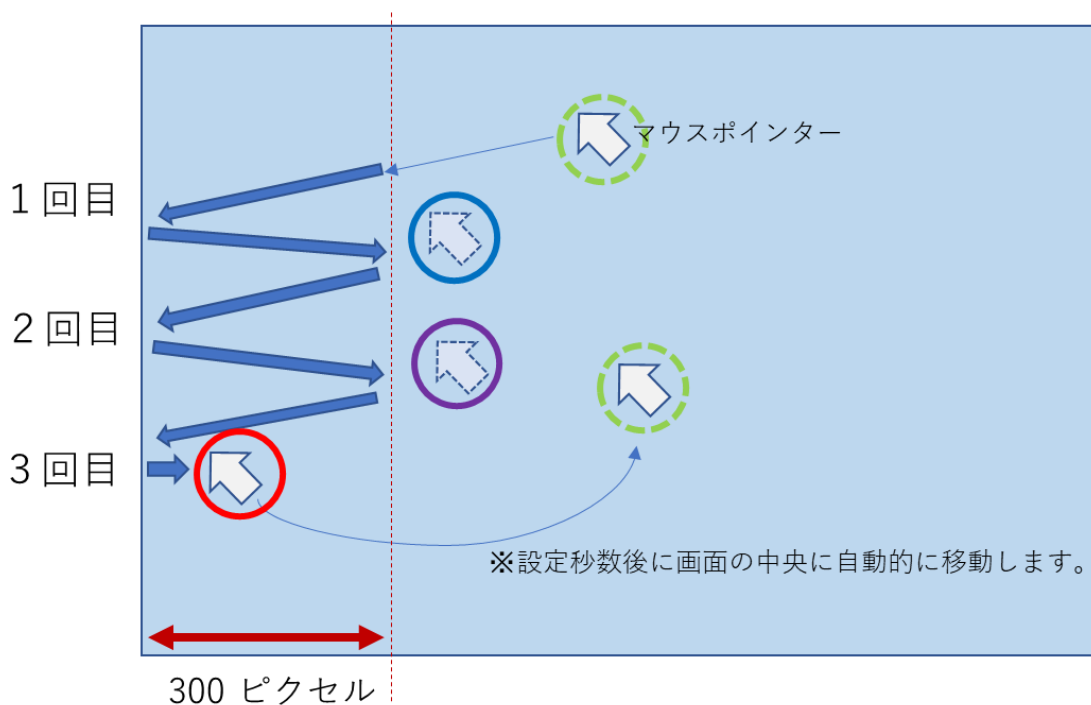
設定の中の「その他」で、「マウス位置リセット（Zono用）」のチェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンを押してください。

（※無料版では、マウス位置リセットは利用できません。10分お試し機能でご確認ください。）

マウス位置リセット機能の利用

Zono を利用中に、マウスの基準位置がずれてしまったら、次の操作でマウス位置をリセットすることができます。

1. Zono を利用して画面の端を 3 回叩くような感じでマウス移動をします。
2. 画面の端であれば、上下左右いずれの端でも構いませんが、同一の画面の端を連続して叩いてください。例えば画面の左を連続して 3 回叩くように操作します。
 - 画面の端をたたいたら、一定距離を戻してから（初期値 300 ピクセル）再び画面の端をただくようにしてください。
 - 指定秒数（初期値 5 秒）以内に 3 回叩き終わらない場合は、マウス位置リセットはキャンセルされます。
 - 画面の端を叩くたびに、マウス強調の円が「青」「紫」「赤」に変わります。
3. 3 回叩き終わると（マウス強調の円が赤になると）、画面中央にダイアログが表示されます。表示されてから、判定時間経過すると（初期値 5 秒）、画面中央にマウスが移動します。判定経過時間は、マウス位置に数字が表示されてカウントダウンされます。
4. このとき、画面の中央にマウスがある状態をイメージして姿勢を正してください。



■ 1 1. 更新プログラムの確認について

更新プログラムの有無を確認し、更新プログラムがあれば、その場でダウンロードして更新プログラムをインストールすることができます。

更新の確認はインターネットに接続して、更新状況を確認します。パソコンがインターネットに接続されていないと更新の確認はできません。その場合は、接続できないというエラーが表示されます。なお、更新の確認機能では、不正使用防止のため、ライセンスの登録状況も併せて確認いたします。あらかじめご了承ください。

次の手順で更新の確認をすることができます。

※あらかじめインターネットに接続されていることをご確認ください。

1. メインパネルの設定（歯車マーク）を選択して設定パネルを開きます。
2. 右側に「更新の確認」ボタンがあるかご確認ください。
（※ない場合）クリックアシストがダウンロード版で、かつ、バージョンがV2.1.2 より古い可能性があります。最新のバージョンをダウンロードしてインストールしてください。
右側にある「更新の確認」ボタンをクリックします。
3. ダイアログが表示されて、最新の状態です。または更新プログラムがありますといったメッセージをご確認ください。
4. 「更新があります」と表示されている場合は、「今すぐ更新」ボタンが利用できます。ボタンを押してください。ダウンロードダイアログが表示されます。
5. ダウンロードが完了したら「今すぐ更新プログラムを実行」を押して更新プログラムをインストールしてください。

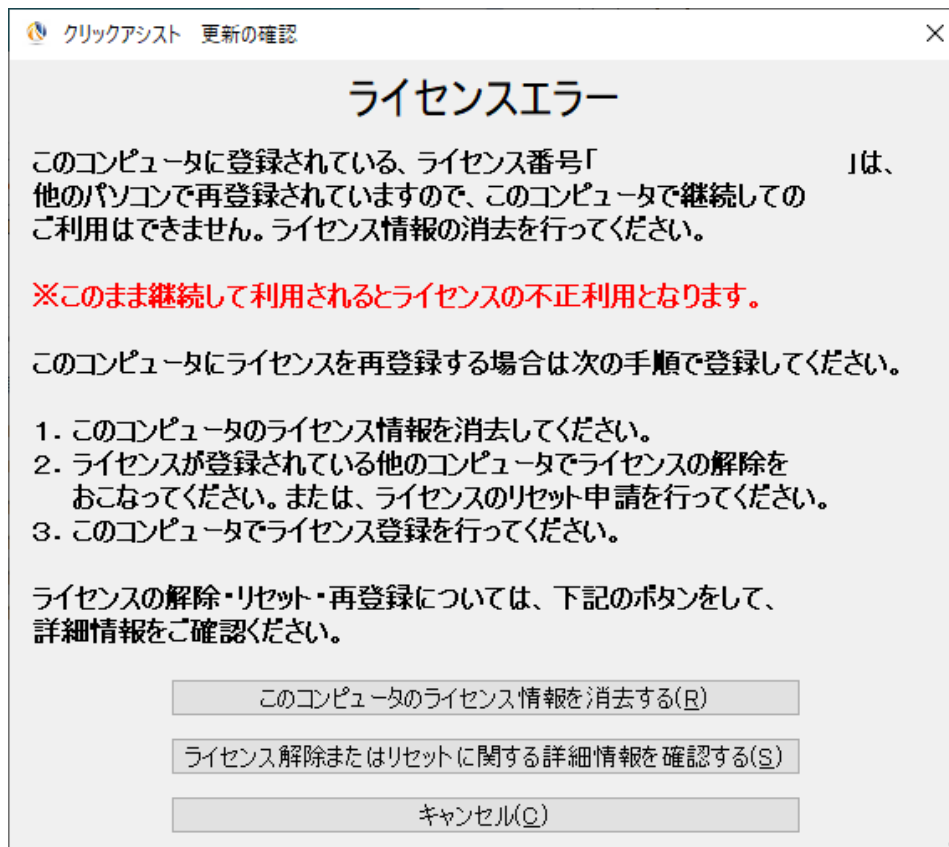
v2.2 からクリックアシストを起動するときに、更新プログラムの有無を定期的を確認します。もし更新プログラムがあれば、更新の確認のダイアログを表示してお知らせします。

バージョン情報を確認してください。
 もしV2.1.2より古い場合は、最新のバージョンをダウンロードして、上書きインストールしてください。
 最新のバージョンは下記のダウンロードページからダウンロードしてください。
<http://www.ttools.co.jp/clickassist/download.html>

更新がある場合 最新の場合

インストールプログラムが起動します

更新の確認を行った時に、下記のような「ライセンスエラー」ダイアログが表示された場合は、他のパソコンで同じライセンス番号が登録されている可能性があります。画面の指示に従って、再度、ライセンス登録をやり直していただくようお願いいたします。



- このダイアログの「キャンセル」ボタンを選択すると、いったん、このダイアログを閉じてライセンスに関する処理を保留することができます。
- このダイアログの「このコンピュータのライセンス情報を消去する」のボタンを選択すると、すぐに無条件にライセンス情報を消去しますのでご注意ください。
- ライセンスの解除やリセットについては、このダイアログの「ライセンスの解除またはリセットに関する詳細情報を確認する」のボタンを押して web 情報を確認するか、このヘルプの「[第4部ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド](#)」をご参照ください。

■ 12. タスクトレイアイコンについて

クリックアシストが起動中はタスクトレイにアイコンが登録されます。タスクトレイに常にアイコンを表示するには、Windows コントロールパネルや設定で常に表示されるように登録してください。タスクトレイアイコンを左クリックまたは右クリックすると、次のメニューが表示されます。



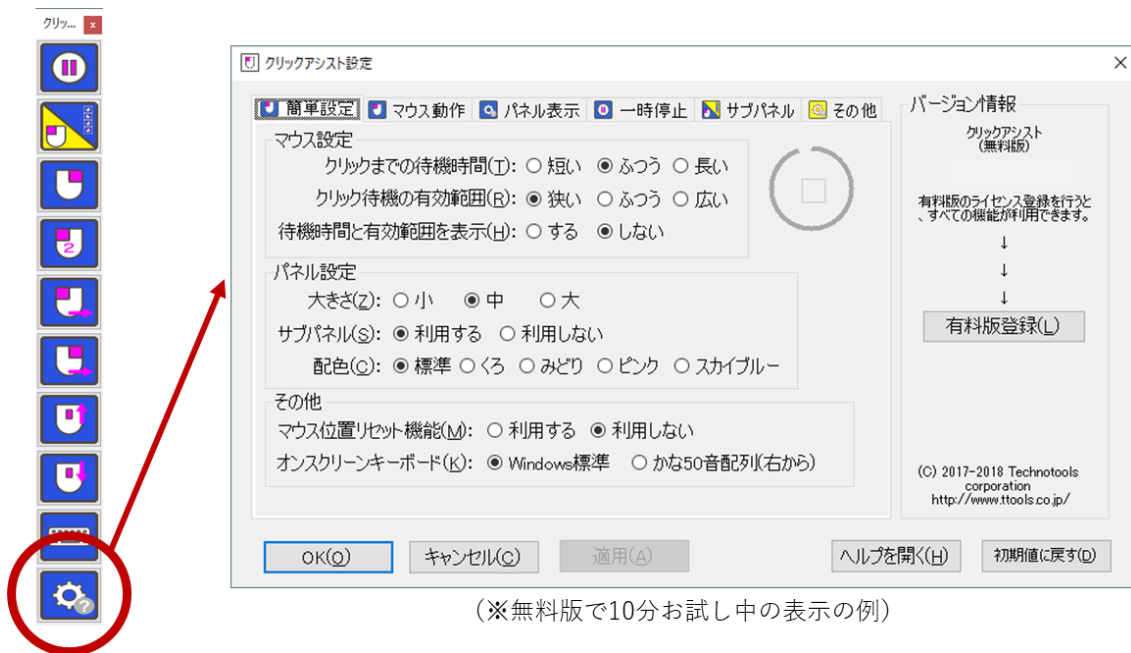
設定	設定ダイアログを表示します
再起動	クリックアシストを再起動します（無条件にすぐに再起動します）
終了	クリックアシストを終了します（終了確認ダイアログが表示されます）

タスクトレイに、クリックアシストのアイコンを常に表示するには次の手順で設定します。

Windows7 Windows8.1	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリックアシストが起動していることを確認します（一時停止の状態でも構いません） 2. タスクバーを右クリックしてメニューを表示します。 3. 「プロパティ」を選択して「タスクバーのプロパティ」ダイアログを開きます。 4. 「タスクバー」タブの中の「通知領域」という項目にある「カスタマイズ」ボタンを押して「通知領域アイコン」ダイアログを開きます。 5. アイコンの一覧から「クリックアシスト（ClickAssist）」を探して、右側にある選択項目から「アイコンと通知を表示」に切り替えます。 6. この時点で、タスクトレイにクリックアシストのアイコンが表示されたことを確認します。 7. OK ボタンを押して「通知領域アイコン」ダイアログを閉じます。 8. OK ボタンを押して「タスクバーのプロパティ」ダイアログを閉じます。
Windows10/11	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリックアシストが起動していることを確認します（一時停止の状態でも構いません） 2. タスクバーを右クリックしてメニューを表示します。 3. 「タスクバーの設定」を選択して、タスクバーの設定画面を開きます。 4. 少し下にスクロールすると「通知領域」という項目のところに「タスクバーに表示するアイコンを選択します」という項目があるのでそれを選択します。 5. アイコンの一覧から「クリックアシスト（ClickAssist）」を探して、右側にあるスイッチを「オン」に切り替えます。 6. タスクトレイにクリックアシストのアイコンが表示されたことを確認します。 7. 設定画面を閉じます。

■ 1 3. 設定ダイアログについて

設定ダイアログでは、利用者の状況に合わせて様々な設定を用意しています。設定ダイアログを開くには「歯車」マークの設定アイコンを選択します。



クリックアシスト設定は、タブ表示によって6つのグループに分かれています。また、タブとは別に、バージョン情報等の情報を表示しています。

タブ	設定項目の概要
簡単設定タブ	主な設定を簡単に設定することができます。
マウス動作タブ	マウスの動作や表示に関する設定ができます。
パネル表示タブ	操作パネルの表示に関する設定ができます。
一時停止タブ	一時停止に関する動作の設定ができます。
サブパネルタブ	サブパネルの利用の有無や動作の設定ができます。
その他タブ	マウス位置リセット (Zono 用) 設定、オンスクリーンキーボード設定、起動設定、の各種設定ができます。
その他	バージョン情報表示、有料版登録、各種操作ボタン

(※無料版状態では、一部の設定のみ利用できます。詳細は「無料版と有料版の違い」をご参照ください。なお、10お試し機能ですべての機能がお試しいただけます。)

● 簡単設定タブ

	設定項目	説明
クリック方法	自動クリック	自動クリック（一定時間その場所に留まってクリックを実行する）モードを選択します。（初期値です）
	左ボタンでクリック	左ボタンでクリックを実行するモードを選択します。
	アイコン表示	左ボタンでクリックを選択時にアイコンの表示非表示を選択します。
自動クリック設定	クリックまでの待機時間	<p>クリックするために必要な、マウスをその場所に留めておく時間を選択します。「短い」「ふつう」「長い」から選択できます。</p> <p>（短い：0.7 秒 ふつう：1.5 秒 長い：3.0 秒）</p> <p>※待機時間の目安を右の側のアニメーションで確認できます。</p>
	クリック待機の有効範囲	<p>マウスが動いても、その場所に留まっていると判定する有効範囲（震えなどの許容範囲）を選択します。</p> <p>「狭い」「ふつう」「広い」から選択できます。</p> <p>（狭い：10 ピクセル ふつう：20 ピクセル 広い：30 ピクセル）</p> <p>※有効範囲の目安を右の側のアニメーションで確認できます。</p>
	待機時間と有効範囲を表示	<p>クリックするために、マウスをその場所に留めているときに、クリックを実行するまでの時間の目安を円で表示するかどうか選択できます。一周回って弧がなくなると、クリックが実行されます。</p> <p>クリック待機の有効範囲の目安を点線で表示するかどうかを選択します。赤色の点線表示は、クリックまでの待機時間がカウントされていることを示します。青色の点線表示は、クリックを実行した後で、クリックまでの待機時間がカウントされていないことを示します。なお、青色の点線表示の場合は、青色の点線より外に移動しないと次のクリックは実行されません。表示を「する」「しない」いずれかを選択できます。</p>
パネル設定	大きさ	操作パネルのサイズを選択できます。「小」「中」「大」の中から選択できます。
	サブパネル	サブパネルモードを利用するかどうか選択できます。「利用する」「利用しない」の中から選択できます。
その他	マウス位置リセット機能	マウス位置リセット機能を利用するかどうか選択できます。「利用する」「利用しない」の中から選択できます。
	オンスクリーンキーボード	Windows 標準のキーボードか、かな 50 音配列キーボード（右から）のいずれかを選択できます。

●マウス動作タブ

	設定項目	説明
クリック方法	自動クリック	自動クリック（一定時間その場所に留まってクリックを実行する）モードを選択します。
	左ボタンでクリック	左ボタンでクリックを実行するモードを選択します。
自動クリック設定	クリックまでの待機時間	クリックするために必要な、マウスをその場所に留めておく時間を選択します。0.5～3.0秒の範囲で、0.1秒ごとに選択できます。初期値は1.5秒です。
	クリック待機の有効範囲	マウスが動いても、その場所に留まっていると判定する有効範囲（震えなどの許容範囲）を選択します。10～100ピクセルの範囲で10ピクセル毎に選択できます。初期値は10ピクセルです。
左ボタン動作	押したとき	左ボタンを押したときにクリックを実行します。
	離れたとき	左ボタンを離れたときにクリックを実行します。
	無効時間	離れたときに設定しているとき、設定の秒数以上押されていない場合は無効と判断します。
マウス表示設定	マウスのプロパティを開く	Windowsの「マウスのプロパティ」ダイアログを開きます。
	待機時間の表示	クリックするために、マウスをその場所に留めているときに、クリックを実行するまでの時間の目安を円で表示します。一周回って弧がつながって円になると、クリックが実行されます。初期値はチェックなしです。
	有効範囲の表示	クリック待機の有効範囲の目安を点線で表示します。赤色の点線表示は、クリックまでの待機時間がカウントされていることを示します。青色の点線表示は、クリックを実行した後で、クリックまでの待機時間がカウントされていないことを示します。なお、青色の点線表示の場合は、青色の点線より外に移動しないと次のクリックは実行されません。初期値はチェックなしです。
	マウスカーソルの強調	マウスの位置を常に円で表示します。マウスの位置を見失うことが多い方にお勧めです。初期値はチェックなしです。マウスカーソル強調は、常に表示されます。動画等を全画面で視聴される場合などは、無効にすることをお勧めします。
	クリック音を鳴らす	クリックアシストが自動でクリックしたときに、クリック音を鳴らすかどうかを選択します。初期値はチェックありです。
	左ボタンアイコンを表示	左ボタンでクリックの時アイコンを表示するかを選択します。
	太い円 細い円	待機時間の表示およびマウスカーソル強調の円を太い円で表示するか細い円で表示するかを選択します。初初期値は太い円です。

● パネル表示タブ

	設定項目	説明
操作 パ ネ ル の 表 示 設 定	サイズ	操作パネルのサイズを選択できます。 小、中、大の中から選択できます。初期値は中です。
	透明表示	操作パネルの透明度を選択できます。 なし、50%、90%、または、数値指定で指定できます。初期値はなしです。
	基準位置	操作パネルの基準位置を選択できます。基準位置とは、何らかの事情でモニターの表示設定が変わり、正しく表示されない状態となった場合にもとに戻る位置です。 上、下、左、右から選択できます。初期値は右です。
	閉じるボタンを表示	操作パネルの右上の「×」を表示するかどうか選択できます。初期値はチェックありです。
	タイトルバーを表示	操作パネルの上部のタイトルバーを表示するかどうか選択できます。タイトルバーを非表示にすると、操作パネルをドラッグで移動することはできません。初期値はチェックありです。
	操作パネルのスナップ	操作パネルを画面の端にドラッグして移動した場合、その位置にあった標準の位置に位置を修正します。初期値はチェックなしです。 この機能を有効にしている場合は、マルチモニター環境でサブモニターへの移動はできません。サブモニターへ移動して利用したい場合は、無効にしてください。
	簡易表示	ドラッグとホイールの操作をしない場合は、非表示にすることができます。初期値はチェックなしです。
	配色	操作パネルの配色を変更できます。

●一時停止タブ

	設定項目	説明
一時停止中の透明表示	透明表示までの時間	一時停止にしたときに、一定の時間が経つと自動的に非表示になる機能です。非表示（透明度90%）になる時間を選択できます。 なし、5秒、10秒、30秒、から選択できます。初期値は、なしです。
	ほぼ透明表示	チェックありにすると、透明度が99%になります。初期値はチェックなしです。
	マウス移動で再表示	ほぼ透明表示になってもマウスを動かすと薄く表示されて位置がわかります。初期値はチェックありです。 ※「マウス移動で再表示」を「チェック無し」を選択した場合は、現在の操作パネルの位置にマウスを移動させると再表示されます。操作パネルの位置を忘れてしまうと、再表示できなくなりますのでご注意ください。
自動的に一時停止に変更するタイミング	意図せずクリック操作をしないように、自動的に一時停止する機能です。	
	クリックアシスト起動時	クリックアシストが起動するときに、自動的に一時停止状態になります。初期値はチェックなしです。
	スクリーンセーバー、画面OFF、スタンバイ時	スクリーンセーバー、画面OFF、スタンバイのときに、自動的に一時停止状態になります。初期値はチェックなしです。
	サインイン、UAC画面	サインイン画面、UAC画面のときに、自動的に一時停止状態になります。初期値はチェックなしです。

●サブパネルタブ

設定項目	説明
サブパネルモードを利用する	サブパネルモードを利用するかどうか選択できます。初期値はチェックありです。
表示時間	サブパネルが開いてから、サブパネルを選択しなかった場合に、サブパネルが自動で閉じるまでの時間を選択できます。初期値は5秒です。
クリックマーカーを表示する	クリックマーカーを表示するかどうか選択できます。初期値はチェックありです。
透明度	サブパネルの透明度を選択できます。 なし、50%、90%、または、数値指定で指定できます。初期値はなしです。
既定のモード	起動時のモードを「左クリック」にするか「サブパネル」にするかを選択できます。初期値は左クリックです。

●その他タブ

◆マウス位置リセット (Zono 用)

	設定項目	説明
マウス位置リセット	マウス位置リセット (Zono 用)	マウス位置リセット機能を利用するかどうか選択できます。初期値はチェック無しです。
	判定時間	画面の端を3回たたく操作の時間について、マウス位置リセット操作と判定する時間を選択できます。初期値は5秒です。
	判定距離	画面の端を3回たたく操作の距離について、画面の端からどの程度離れたらマウス位置リセット操作と判定するかその距離を選択できます。初期値は300ピクセルです。

◆オンスクリーンキーボード

	設定項目	説明
オンスクリーンキーボード	Windows 標準	Windows 標準のオンスクリーンキーボードを選択できます。
	かな 50 音配列 (右から)	右から「あいうえお」が並んでいる、かな 50 音配列を選択できます。
	かな 50 音配列 (左から)	左から「あいうえお」が並んでいる、かな 50 音配列を選択できます。
	キーをハイライトする	マウスがキーの上に来た時に、そのキーをハイライトするかどうかの設定を追加しました。
	起動時にキーボードを表示	クリックアシストが起動したときにキーボードも同時に表示するか選択できます。
	キーボード設定を初期化	キーボード設定を初期化するときにチェックを入れます。
	以前のバージョンの IME を使うの設定をする	以前のバージョンの IME を使うの設定をする場合にこのボタンを押して Windows の設定を開きます。

※Windows 標準オンスクリーンキーボードについては、下記の URL をご参照ください。
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/10762/windows-use-on-screen-keyboard>
 (※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)

◆起動設定

	設定項目	説明
起動設定	Windows 7 の場合	スタートアップに登録のチェックボックスがあります。このチェックボックスで、スタートアップに登録するかどうか選択します。
	Windows8.1/10/11 の場合	<p>「起動設定登録」ボタンがあります。このボタンを押すと、一旦「ユーザーアカウント制御」の画面となりますので、「はい」を選択します。すると、クリックアシスト起動設定ダイアログが開きます。このダイアログで、自動起動をするかどうか下記の項目から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サインイン時 (ログイン画面等で起動) ・ サインイン後 (デスクトップ・UAC 画面等で起動) <p>通常は両方にチェックを付けることをお勧めします。サインイン時にだけチェックを付けた場合は、サインイン画面 (ログオン画面) のみ起動し、サインイン後は起動しません。サインイン後にだけチェックを付けた場合は、サインイン画面 (ログオン画面) では起動せず、サインインした後のデスクトップで起動します。この場合スリープから復帰した後のパスワード画面等は起動しません。</p> <p>(※起動設定は Windows の再起動により有効になります。)</p>

◆クリック動作

	設定項目	説明
ク リ ッ ク 動 作	システムクリックイベントで送信	システムイベントの「クリックイベント」「ダブルクリックイベント」を送信してクリックします。
	ボタンを押す離すイベントで送信	マウスボタンを「押す」と「離す」のイベントを送信してクリックします。
	間隔時間	マウスボタンを「押す」イベント送信した後に「離す」のイベントを送信するまでの時間を設定します。 注意: 数値を大きくするとクリックやダブルクリックが認識されなくなる場合がありますのでご注意ください。

●その他（バージョン情報表示、有料版登録など）

設定項目	説明
バージョン情報表示	バージョン情報の欄にプログラムのバージョン情報（数字）が表示されます。 また、ライセンス番号が登録されていない場合は「無料版」と表示されます。ライセンス番号が登録されている場合は、「有料版」と表示され、ライセンス番号等が表示されます。
有料版登録ボタン	無料版では、ライセンス番号を登録するための「有料版登録」ボタンが表示されます。このボタンを利用して、ライセンスのご購入サイトのご案内や、ライセンス番号の登録を行います。 ■ライセンスのご購入 ライセンスの購入手順の詳細は、「第3部インストールライセンス登録について」をご参照ください。 ■有料版登録（ライセンス番号の登録） 有料版登録の手順の詳細は、「第3部インストールライセンス登録について」をご参照ください。
ライセンス解除ボタン	ライセンスの解除ができます。詳細は「第3部インストールライセンス登録について」をご参照ください。
更新の確認ボタン	プログラムの更新の確認や最新版のダウンロードができます。詳細は簡単操作ガイドの「更新プログラムがあるか確認してみよう！」をご参照ください。

●各種操作ボタン

設定項目	説明
OK ボタン	設定を保存してダイアログを閉じます。
キャンセルボタン	設定を保存せずにダイアログを閉じます。
適用ボタン	設定をすぐに適用します。
ヘルプを開くボタン	ヘルプ（web ページ）を開きます。
初期値に戻すボタン	設定を初期値に戻します。

■ 14. 注意事項について

・サブパネルモードを利用している場合

サブパネルモードで設定パネルを開くと、お知らせダイアログが表示されて、自動的に左クリックモード変更されます。設定ダイアログではサブパネルモードは利用できませんのであらかじめご了承ください。サブパネルモードでは、クリックアシストのメインの操作パネルのタイトルバーや閉じるボタンは操作することはできません。それら进行操作したい場合は、左クリックモードに変更してからご利用ください。

・「マウス移動で再表示」を「チェック無し」にしている場合

「位置停止中の非表示化」の設定の中の「マウス移動で再表示」の「チェック無し」を選択した場合は、現在の操作パネルの位置にマウスを移動させると再表示されます。

※操作パネルの位置を忘れてしまうと、再表示できなくなりますのでご注意ください。

・「クリックまでの待機時間」を短く設定している場合

「マウスの動作設定」の「クリックまでの待機時間」を短く設定すると、意図しないクリックが発生する原因となります。短く設定した場合は、設定後の操作には十分ご注意ください。
※特に 0.5 秒以下に設定する場合は、意図しないクリックが多発する可能性がありますので、十分注意して設定を行ってください。

・かな50音配列オンスクリーンキーボードを利用する際の注意点

かな50音配列オンスクリーンキーボードを利用する際は、「かな50音配列オンスクリーンキーボード」の「かな50音配列オンスクリーンキーボード利用時の注意点」をご参照ください。

・スクリーンセーバーを解除するためにマウスを動かした場合

スクリーンセーバーを解除するためにマウスを動かした場合でも、クリックまでの待機時間がカウントされてクリック動作を行います。スクリーンセーバー解除後にクリック動作をしないようにするには、「自動的に一時停止に変更するタイミング」の「スクリーンセーバー、画面 OFF、スタンバイ時」にチェックを入れてください。

・ Zono で利用する場合の注意点

クリック方法で自動クイックを選択する場合は、Zono の Auto Click 機能は、あらかじめ OFF にしてください。ON のまま利用すると、クリックアシストと競合して意図しないクリックの発生等の原因になります。

あらかじめ、Zono の初期化ツールおよび設定ツールを利用して、利用者が正しく利用できるように設定してからクリックアシストをご利用ください。正しく利用できない状態では、クリックできないまたは意図しないクリックの発生等の原因になります。

・ ジョイスティックマウスで利用する場合の注意点

自動クリックモードでご利用の場合は、ジョイスティックマウスのボタン 1～3 の機能を OFF にしておくことをお勧めします。OFF にしていない場合、意図しないクリックの発生等の原因になります。また、左ボタンでクリックのモードの場合はいずれか 1 つのボタンに左ボタンを割り当てることを推奨します。

あらかじめ、ジョイスティックマウス設定ツールを利用して、利用者が正しく利用できるように設定してからクリックアシストをご利用ください。正しく利用できない状態では、クリックできないまたは意図しないクリックの発生等の原因になります。

・ その他のポインティングデバイスで利用する場合の注意点

一般的なマウスやトラックボールでご利用の場合は、各種ボタンの無効化やボタンを操作しないような工夫をしていただくことをお勧めします。意図しないクリックの発生を抑えることができます。

・ Windows のマウス設定（マウスのプロパティ）に関する注意点

「主と副のボタンを切り替える」を有効にした場合、クリックアシストの操作も主と副が切り替わる（逆になる）のでご注意ください。

「ポインターの精度を高める」を有効にした場合、Windows の環境によっては、ドラッグ等の機能が正しく行えない場合があります。そのような場合はこの設定を無効にすることを推奨します。

その他の設定は、極端な設定は避け、初期値または中央値に近い設定を推奨します。

クリックロックを有効にしても、クリックアシストでは利用できません。

・ メイン操作パネルの下側に余白ができる場合の注意点

コンピュータの解像度やそのたの環境によって、メイン操作パネルの下側に余白ができることがあります（一時停止時も含む）。余白が出ても動作上問題ありませんが、余白が気になる場合は、クリックアシストの設定で、タイトルバーの表示を非表示に設定してください。また、高 DPI モニターで DPI スケーリングが 100% よりも大きい場合については、下記の「高 DPI モニターをご利用の場合の注意点」をご参照ください。

・高 DPI モニターをご利用の場合の注意点

Windows7 および Windows8.1 で、DPI スケーリングが 100% よりも大きい場合、操作パネルの下側に余白ができることがありますが、動作上問題ありません。余白が気になる場合は、クリックアシストの設定で、タイトルバーの表示を非表示に設定するか、DPI スケーリングの調整を行ってください。

カスタム DPI や DPI スケーリングが大きい場合、操作パネルの右端または下端が少し切れて表示されることがありますが、動作上問題ありません。切れた表示が気になる場合は、クリックアシストの設定で、タイトルバーの表示を非表示に設定するか、DPI スケーリングの調整を行ってください。

DPI スケーリングが大きい場合、操作パネルが画面に入りきらずに、はみ出してしまう場合があります。その場合はクリックアシストの設定で、操作パネルの大きさの変更や、簡易表示の設定をするか、DPI スケーリングの調整を行ってください。

DPI スケーリングの調整は次の手順で行います。

Windows7 の場合

1. スタートメニューから「コントロールパネル」を選択して開きます。
2. 「画面の解像度の調整」を開きます。
3. 「テキストやその他の項目の大きさの変更」を開きます。
4. 「画面上の文字を読みやすくします」の項目や「カスタムテキストサイズの設定 (DPI)」の項目で設定の確認や変更をします。
5. 100% または画面に「推奨」と表示されている設定にすることをお勧めします。

Windows8.1 の場合

1. スタートボタンを右クリックして「コントロールパネル」を選択して開きます。
2. 「画面の解像度の調整」を開きます。
3. 「テキストやその他の項目の大きさの変更」を開きます。
4. 「すべての項目のサイズを変更する」の項目や「すべてのディスプレイで同じ拡大率を

使用する」の項目や「カスタムサイズ変更オプション」の項目で設定の確認や変更をします。

5. 100%または画面に「推奨」と表示されている設定にすることをお勧めします。

Windows10/11 の場合

1. スタート画面の「設定」を選択して設定画面を開きます。
2. 「システム」を開きます。
3. 「ディスプレイ」を開きます。
4. 「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」の項目や「カスタムスケールリング」の項目、あるいは「ディスプレイの詳細設定」の中の「テキストやその他の項目の大きさの変更」の中の「カスタムの拡大率を設定」の項目で設定の確認や変更をします。
5. 100%または画面に「推奨」と表示されている設定にすることをお勧めします。

・他のアクセシビリティの機能やソフトウェアと併用される場合の注意点

ご注意：下記に他のアクセシビリティ機能と併用される場合についての注意点を記述しますが、該当するアクセシビリティ機能と併用して正しく動作することを保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

・ハイコントラスト表示

ハイコントラスト表示で利用する場合でも、操作パネルの色は変更されません。必要に応じて、設定ダイアログの「パネル表示」の中の「配色」から色を選択してください。

・オンスクリーンキーボード

Windows のオンスクリーンキーボードと併用される場合は、クリックアシストのキーボードアイコンから起動および非表示（最小化）することをお勧めします。また、オンスクリーンキーボードとクリックアシストの操作パネルが重なると、再表示が繰り返されて、画面がちらつくことがありますので、可能な限り表示が重ならない位置に配置してください。他のオンスクリーンキーボードを併用する場合も同様の現象が起きる可能性がありますのであらかじめご確認ください。

設定ダイアログやクリックアシストのメッセージダイアログと、Windows のオンスクリーンキーボード等が重なると、キーボードが操作できなくなることがあります。その場合は、クリックアシストのキーボードアイコンで、一旦キーボードを閉じてから操作をしてください。

かな50音配列オンスクリーンキーボードを利用する際は、「かな50音配列オンスクリーンキーボード」の「かな50音配列オンスクリーンキーボード利用時の注意点」もご参照ください。

- ・拡大鏡（拡大ソフト）

Windows の拡大鏡を併用される場合は、拡大表示を「全画面」とした場合は、拡大率によってはクリックアシストの操作パネルが画面の外に表示されることとなりますので、あらかじめご注意ください。

拡大表示を「固定」とした場合、拡大表示部分とクリックアシストが重なると正しく表示できない場合がありますので表示が重ならないよう調整してください。

拡大表示を「レンズ」にした場合は、拡大レンズがクリックアシストと重なると、再表示が繰り返されて、画面がちらつくことや、正しく動作しなくなることがありますのであらかじめご了承ください。

他の拡大ソフトを利用する場合も、上記と同様の現象が起きる可能性がありますのであらかじめご確認ください。

- ・常に画面の最前面に表示させるようなアプリケーション

常に画面の最前面に表示させるようなアプリケーション（オペレートナビなど）を併用する場合、そのアプリケーションの表示とクリックアシストの操作パネルの表示が重なると、どちらも再表示が繰り返されて、画面がちらつくことや、正しく動作しなくなることがありますので、表示が重ならないよう調整してください。また、表示が重ならないよう調整しても、正しく動作しなくなる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

- ・マウスキー機能

Windows のマウスキーと一緒に利用する場合に、クリック方法で自動クリックが設定されている場合は、マウスが一定時間留まると自動でクリックされることに留意してご利用ください。マウスキーと一緒に利用する場合は、クリック方法で「左ボタンでクリック」を設定するか、自動クリックで利用する場合は「サブパネルモード」を利用することをお勧めします。

他のマウス支援アプリケーションやジョイスティック支援アプリケーションなどと併用する場合、お互いの機能が競合するなどして正しく利用できないことがありますので、あらかじめご確認ください。

- ・ ナレーター（読み上げソフト）

Windows のナレーターと併用する場合は、クリックアシストの操作パネルの下に表示されている部分は正しく読み上げない場合や、強調表示が表示できないことがあります。その場合は読み上げたい場所には、クリックアシストを表示しないようにしてください。

他の読み上げソフトを利用する場合も、同様の現象が起きる可能性がありますのであらかじめご確認ください。

・その他の注意点

対応の Windows において、Windows Update で、最新の状態になっていない場合や、クリックアシストが正しくインストールされていない場合は、操作パネルが最前面に表示されない場合があります。

他のアプリケーションが重い処理を実行しているなど、CPU の処理能力に余力がない場合、クリックのタイミングがずれたり、クリック音が遅れて聞こえたりする場合があります。

一部のアンチウイルスソフトでは、クリックアシストをウイルスであると誤検知することがあります。その場合は利用しているアンチウイルスソフトの設定を行い、検知対象から除外する等の設定を行ってください。

リモートデスクトップ、バーチャル PC、バーチャルボックス等、特殊なウィンドウに対しては、クリック操作が正しくできない場合があります。

クリックアシストは、タッチパネルでのタッチ操作もマウスの移動と認識します。タッチパネルでタッチ操作を利用する場合は、クリックアシストを一時停止した状態でご利用ください。意図しないクリックの発生を抑えることができます。

「待機時間の表示」「有効範囲の表示」「マウスカーソル強調」の表示を有効にしている場合、Windows の動作状況によっては、タスクリストやタスクビューに、「待機時間の表示」「有効範囲の表示」「マウスカーソル強調」の各ウィンドウの選択項目が表示される場合があります。リストに表示されることやそれを選択しても特に問題はありませので、そのままご利用ください。

無料版の状態では、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックして表示される確認

ダイアログについて「今後このダイアログは表示しない」にチェックを入れると、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックしても何も反応しなくなります。再びこのダイアログを表示するには、設定ダイアログで「初期値に戻す」ボタンを押して OK ボタンを押してください。

・ Windows の各バージョンにおける注意点

Windows 共通	いずれの Windows においても、Windows Update 等で最新の状態になっていることを確認してください。
Windows7	ログオン画面、ユーザーアカウント制御画面等のセキュアデスクトップでの動作には対応していません。 コンピュータの簡単操作センターで、手動で起動設定した場合でも、動作保証の対象外ですのであらかじめご了承ください。
Windows8.1	起動設定でログオン時とログオン後の両方を設定している場合でも、サインアウト時の特定の状況（サインアウト阻止アプリ一覧からデスクトップへ復帰した場合など）では、Windows の仕様上、クリックアシストが自動起動しない場合がありますのであらかじめご注意ください。
Windows10/11	起動設定でログオン時とログオン後の両方を設定している場合でも、特定の状況下では Windows の仕様上、クリックアシストが自動起動しない場合がありますのであらかじめご注意ください。 メインパネルの周辺の数ピクセルは反応しません。この部分は、メイン操作パネルのウィンドウ境界線（枠）の一部として透明の枠があると、Windows によって認識されているためです。



■■第3部：インストールガイド

第3部では、インストール手順や、起動方法、無料版と有料版の違いなどの情報が記載されています。



ご案内

操作方法に関するガイドは、

[第1部：簡単操作ガイド](#)

[第2部：リファレンスガイド](#)

をご参照ください。

※ライセンスの購入登録解除については「[第4部：ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド](#)」をご参照ください。

[目次へ戻る](#)

■ 1. パッケージ版をご購入された方へ

このヘルプでは、ダウンロード手順、インストール手順、ライセンスの購入手順について、ダウンロード版を例として説明をしている部分があります。

※パッケージ版の場合は、プログラムのダウンロードやライセンスの購入は不要です。

下記の点につきまして、ご留意いただきますようお願いいたします。

項目	説明
ダウンロードについて	<p><u>ホームページからのプログラムのダウンロードは不要です。</u></p> <p>購入されたパッケージに同梱されている CD-ROM をご用意ください。</p>
インストール手順について	<p><u>CD-ROM からインストールしてください。</u></p> <p>インストールプログラムの起動手順については、パッケージに同梱のガイドをご参照ください。</p>
ライセンスの購入について	<p><u>ライセンスの購入は不要です。</u></p> <p>パッケージ版では、ライセンス証書が同梱されています。ライセンス証書にライセンス番号が記載されています。</p> <p>※パッケージに同梱されているライセンス証書は、お客様の使用権を証明する重要な書類です。大切に保管してください。</p>

■ 2. 新機能や修正項目について

クリックアシストは、必要に応じて更新プログラムが提供されています。更新プログラムは新機能や問題修正が含まれています。このガイドの「[ソフトウェアの更新履歴](#)」の項目を見てどのような新機能や修正項目があるかなどについて確認ください。

■ 3. 動作環境

クリックアシストは下記の動作環境が必要です。

製品名	クリックアシスト
型番	TCA1N-A01
オペレーティングシステム	Windows10/11 (※いずれも Windows Update 等で最新の状態になっていること)
.NET 実行環境	.NET Framework 4.6/4.7 (及び互換性のある後継バージョン) (※必要に応じて自動でインストールされます。自動インストール時は、インターネット接続環境が必要です) (※互換性のある後継バージョンかどうかは、マイクロソフト等のサイトをご参照ください)
コンピュータ本体	上記 OS が推奨する環境 (※通常の利用で十分な処理能力を有する状態であること)
HDD 空き容量	50メガ以上必要
サウンドデバイス	上記 OS がサポートするサウンドデバイス (※クリック音を鳴らすために必要)
ディスプレイ・モニター	WSVGA (1024x600)以上の解像度 (※これよりも解像度が低い場合は、操作パネルや設定画面が、画面に正しく表示できない場合があります)
インターネット接続環境	プログラムのダウンロード、プログラムのインストール (.NET Framework をインストールする場合)、ライセンス購入、更新プログラムの確認、更新プログラムのダウンロード、ライセンス番号登録の時に必要です。
ポインティングデバイス	上記 OS がサポートするポインティングデバイス 例 ● [Zono] – “世界一軽い”装着型エア・マウス ● [ジョイスティックマウス] – 指先やあごで動かすジョイスティック型のマウス ● その他一般的なマウスやトラックボール
CDドライブ(パッケージ版のみ)	CD/DVD-ROM ドライブ(導入時に必要)(パッケージ版のみ)

※本書には参考情報として、すでにマイクロソフトのサポートが終了しているオペレーティングシステム (Windows7 Windows8.1 など) に関連する記述がありますが、マイクロソフトのサポートが終了しているオペレーティングシステムについては、動作環境のサポート対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

■ 4. ダウンロード版のインストールプログラムのダウンロード

※パッケージ版をすでにご購入されている場合は、ダウンロードの必要はありません。パッケージに同梱している CD-ROM をご用意ください。

下記の web ページより、最新版クリックアシストをダウンロードしてください。

テクノツールホームページ：<https://ttools.co.jp/>

クリックアシストのページ：<https://ttools.co.jp/clickassist/>

(※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)

■ 5. インストール手順

※パッケージ版をすでにご購入されている場合は、パッケージに同梱している CD-ROM からインストールしてください。インストールプログラムの起動手順は、パッケージに同梱しているガイドをご参照ください。

※旧バージョンの「クリックアシスト」をインストール済みの場合※

新規インストールと同様に上書きインストールできます。インストールするときに、クリックアシストを終了する必要はありませんが、インストール完了後は、すぐに Windows の再起動が必要です。画面の指示に従って、必ず再起動を行ってください。

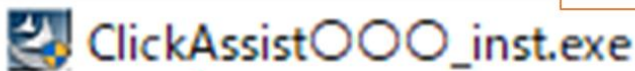
1. ダウンロードしたインストールプログラム (ClickAssist○○○_inst.exe) を、ダブルクリックなどをして、起動します。(※パッケージ版の場合は CD-ROM から起動してください)
2. ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら「はい」を選択します。
3. 「ようこそ」画面が表示されたら、画面の指示に従って「次へ」ボタン等を押して、インストールを進めてください(ご使用条件の同意、インストール前確認、インストール中画面、最後に完了画面と、画面表示が進んでいきます)。
4. 「完了」画面が表示されたら、完了ボタンを押してインストールを完了します。このとき、自動的にクリックアシストが起動します。
※自動起動設定を行わない場合は「自動起動設定を行う」のチェックを「チェック無し」にしてください。この場合インストール完了後の起動は行いません。
5. Windows の再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されるので、画面の指示に従って Windows を再起動してください。Windows 再起動後、クリックアシストを手動で起動してください。

6. クリックアシストの初回起動は、自動的に設定画面が表示されます。各種設定を確認して「OK」ボタンを押してください。設定はあとで変更することもできます。

インストール手順

- ① ダウンロードしたファイルをダブルクリックして起動してください。

パッケージ版の場合はCD-ROMから起動してください。詳細はパッケージに同梱しているガイドをご参照ください



- ②



ユーザーアカウント制御の画面で「はい」を選択してください。

- ③



ようこそメニューが表示されたら画面の指示にしがってインストールを進めてください。



- ④



完了ボタンを押してインストールを完了します。このとき、自動的にクリックアシストが起動します。

※自動起動設定を行わない場合は「自動起動設定を行う」のチェックを「チェック無し」にしてください。この場合インストール完了後の起動は行いません。

- ⑤



Windowsの再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されるので、画面の指示に従ってWindowsを再起動してください。Windows再起動後、クリックアシストを手動で起動してください。

■ 6. アンインストール手順

1. コントロールパネルの中の「プログラムのアンインストール」を開きます。
(※Windows10の場合は「設定」の中の「システム」の中の「アプリと機能」を開いて、アプリケーションの一覧を表示します)
2. アプリケーションの一覧から「クリックアシスト」を探して選択します。
3. 「アンインストール」ボタンを押します。
4. アンインストールを実行するか確認画面が表示されるので、本当に削除する場合だけ、「アンインストール」または「はい」のボタンを選択してください。
5. クリックアシストが起動中の場合は、アンインストールを進めた時点で自動的に終了します。(この時点でクリックアシストでの操作はできなくなります)
6. 設定ファイルを削除するか確認画面が表示されるので、本当に削除する場合だけ「はい」のボタンを選択してください。
7. 完了の画面が表示されたら「完了」ボタンを押してください。これでアンインストールが完了です。

※同一の Windows マシンに設定されている複数のユーザーアカウントでクリックアシストを利用していた場合、アンインストールを実行するユーザー以外の設定ファイルを削除することができません。その場合は各アカウントにログインして手動で設定ファイルを削除してください。設定ファイルは次の場所にあります。

(C:¥ユーザー¥[アカウント名]¥AppData¥Roaming¥ttools¥ClickAssist¥ClickAssist.config)

(※「C:¥ユーザー¥[アカウント名]¥AppData」は、「%AppData%」と記述することで省略することができます)

■ 7. 手動起動と自動起動

手動でクリックアシストを起動する場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューやスタート画面の、アプリの一覧の中から選択します。



自動起動の設定はクリックアシストの設定画面で変更できます。Windows 7では「スタートアップ」に登録してログオン後に自動起動します。Windows 8.1/10では、「コンピュータの簡単操作センター」に登録して自動起動します。「サインイン時」と「サインイン後」の設定ができます。

1. 操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。
2. その他タブをクリックします。
3. 左下の「起動設定」のエリアを確認します。

Windows 7 の場合:スタートアップに登録にチェックを入れて OK ボタンを押します。
(Windows7 の場合はここで設定終了です。)

Windows8.1/10 の場合: 起動設定登録ボタンを押して次に進みます。

4. ユーザーアカウント制御の画面では「はい」を選択します。
5. 自動起動するタイミングをチェックボックスで選択して OK ボタンを押します。

① 「その他」を選択します。

② 「その他」を選択します。

③ Windows7 の場合
起動設定
 スタートアップに登録(Q)
チェックを入れて、OKボタンを押します。

③ Windows8.1 / 10 の場合
起動設定

起動設定登録ボタンを押して、次に進みます。

④ ユーザーアカウント制御
このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?
 クリックアシスト起動設定登録
確認済みの発行元: Technools Corporation
ファイルの入手先: このコンピュータ上のハードドライブ
詳細を表示

⑤ 「ユーザーアカウント制御」の画面が開いたらOKボタンを押します。

⑤ クリックアシスト起動設定
コンピューターの簡単操作センターに登録
 サインイン時(ログイン画面等で起動)(S)
 サインイン後(デスクトップ・UAC画面等で起動)(B)
※この設定はWindows再起動後に有効になります。

■ 8. 終了

手動で終了する場合は、操作パネルの右上の「×」印をクリックして終了します。または、タスクトレイのアイコンをクリックして「終了」を選択します。



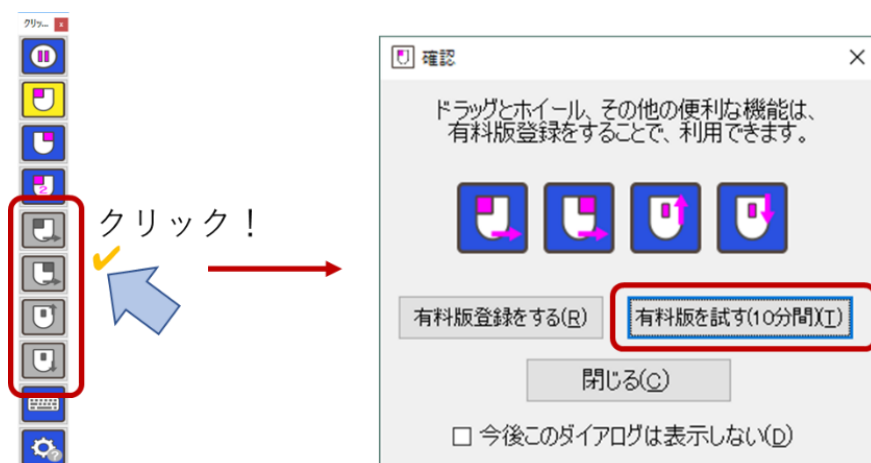
■ 9. 設定

各種設定をするには、操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。または、タスクトレイのアイコンをクリックして「設定」を選択します。



■ 10. 10分お試し機能について

無料版でお使いの方向けに、有料版の機能を10分間ほど、お試しいただける機能です。操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックすると、確認ダイアログが開きます。「有料版を試す(10分間)」を選択してお試しください。



※ご注意

無料版の状態、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックして表示される確認ダイアログについて「今後このダイアログは表示しない」にチェックを入れると、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックしても何も反応しなくなります。再びこのダイアログを表示するには、設定ダイアログで「初期値に戻す」ボタンを押してOKボタンを押してください。

■ 1 1. 無料版と有料版の違いについて

ライセンスを登録する前は、無料版としてご利用いただけます。無料版は、有料版の機能のうちいくつかの機能が利用できます。ライセンスをご購入いただき、有料版登録（ライセンス番号の登録）をいただくことで、すべての機能が利用できるようになります。ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

マウス操作・機能		無料版	有料版
マウス操作	一時停止	○	○
	左クリック	○	○
	右クリック	○	○
	左ダブルクリック	○	○
	左ドラッグ		○
	右ドラッグ		○
	ホイール上		○
	ホイール下		○
	キーボード表示 (※次の設定項目もご参照ください)	○	○
	設定 (※次の設定項目もご参照ください)	○	○
	連続操作モードの切替		○
	サブパネルモードの切替		○

設定項目		無料版	有料版
マウス動作	左ボタンでクリック (左ボタン動作も含む)		○
	クリックまでの待機時間の変更	○	○
	クリック待機の有効範囲の変更	○	○
	待機時間の表示の有無の変更		○
	有効範囲の表示の有無の変更		○
	マウスカーソル強調の有無の変更		○
	クリック音を鳴らす設定の変更	○	○
パネル表示	サイズの変更		○
	透明表示の変更		○
	基準位置の変更		○
	スナップ操作の有無の変更		○
	簡易表示の切り替え		○
	閉じるボタンを表示の有無の変更	○	○
	タイトルバーを表示の有無の変更	○	○
	配色の変更	△(※)	○
一時停止	一時停止中の非表示化の設定変更		○
	自動的に一時停止に変更するタイミングの設定変更		○
サブパネル	サブパネルモードの利用の有無		○
	表示時間の変更		○
	クリックマーカを表示の有無の変更		○
	透明度の変更		○
	既定のモードの変更		○
オンスクリーンキーボード	Windows 標準オンスクリーンキーボード	○	○
	かな50音配列オンスクリーンキーボード		○
その他	マウス位置リセット (Zono 用) の利用の有無		○
	マウス位置リセットの判定時間の変更		○
	マウス位置リセットの判定距離の変更		○
	起動設定	○	○

(※) 無料版では配色の変更はできますが、クリックアシストを再起動すると標準に戻ります。



■■第4部：ライセンスの購入・登録・解除・リセットについてのガイド

第4部では、ライセンスの購入から登録、ライセンスの解除およびリセットに関する手順を解説しています。




クリックアシスト

第4部：ライセンスの 購入・登録・解除・リセット



ご案内

操作方法に関するガイドは、

[第1部：簡単操作ガイド](#)

[第2部：リファレンスガイド](#)

をご参照ください。

※インストールについては「[第3部：インストールガイド](#)」をご参照ください。

[目次へ戻る](#)

■ 1. ライセンスのご購入（ダウンロード版のみ）

※パッケージ版をすでにご購入されている場合は、パッケージに同梱している「ライセンス証書」にライセンス番号が記載されています。次の項目の「[2. 有料版登録（ライセンス番号の登録）](#)」の作業へ進んでください。

まずは、10分お試し機能で、有料版の機能をご確認ください。ご確認いただいたと、ライセンスをご購入いただき、有料版登録（ライセンス番号の登録）をしていただくと、すべての機能が利用できるようになります。ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

● 1-1. ライセンスを購入する前にご確認ください。

- ✓ ダウンロードおよびインストールをして「10分お試し機能」などでライセンスを**購入前に動作確認**をしてください。
- ✓ クリックアシストは、アクセシビリティの機能を提供するための特殊な動作が含まれています。他のアプリケーションとの競合によるエラーが発生して利用できない場合があります。クリックアシストのヘルプの第2部リファレンスガイドの「[注意事項](#)」をご確認いただき、**購入前に動作確認**をしてください。
- ✓ 領収書・見積書・納品書・請求書等の**書類の発行は行っておりません**。（クレジットカードの明細書や銀行振込の控え等をご利用ください）（販売事業者様への各種書類の発行も行っておりません）
- ✓ ライセンス証の発行は**電子メールのみでの発行となります**。（郵送や FAX 等による発行は行っておりません。）
- ✓ **電子メールで発行されるライセンス証は、お客様の使用権を証明する重要な電子メールです。大切に保管してください。**
- ✓ 下記の手順で表示されるクリックアシストのライセンス購入ページにある「利用規約」「販売購入規約」「プライバシーポリシー」「特定商取引に関する記述」を必ずお読みください。
- ✓ ライセンスの購入は、クリックアシストの設定画面から作業を開始します。ライセンスの購入を希望されるお客様は下記の手順で購入ページを開いてください。

● 1-2. ライセンスの購入手続き（通常手順）

1. 操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。
2. 「有料版登録」ボタンを選択して「ライセンスの購入と登録」画面を開きます。
3. 画面の下半分にある「これからライセンスを購入する方（購入ページが開きます）」

を選択します。

- 標準の Web ブラウザーで、ライセンス購入ページが開きます。
- このあとは、開いた、ライセンス購入ページに書かれている注意書き等をよくお読みになって、購入手続きを進めてください。
- 電子メールでライセンス番号がお手元に届きましたら、次の項目の「[2. 有料版登録\(ライセンス番号の登録\)](#)」の作業を行ってください。



- 1-3.クリックアシストをインストールしていないコンピュータからの購入手続き
クリックアシストをインストールしていないコンピュータから購入手続きをする場合は下記のリンクより、購入サイトを開いてください。

クリックアシスト有料版 ライセンス購入ページ

<https://www.at-shop.com/clickassist/>

(※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)

■ 2. 有料版登録（ライセンス番号の登録）

ライセンスを購入し、ライセンス番号がお手元にあるお客様は、下記の手順で登録します。登録するパソコンがインターネットに接続している場合と、そうでない場合で登録手順が異なります。どちらの場合でも、まず、ライセンス登録画面を開いてください。

※すでに古いパソコンにライセンス番号を登録済みの場合

新規購入等で新しいパソコンに、ライセンス番号を登録する場合は、あらかじめ、古いパソコンでライセンスの解除を行うと新しいパソコンに同じライセンス番号を登録することができます。ライセンス解除を行っていない場合は、エラーが表示されてライセンスの登録はできません。

詳細は「[3. ライセンス解除機能について](#)」または「[4. ライセンスのリセットの申し込みについて](#)」をご参照ください。

● 2-1. ライセンス登録画面を開く

1. 操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。
2. 「有料版登録」ボタンを選択して「ライセンスの購入と登録」画面を開きます。
3. 画面の下半分にある「ライセンス登録を始める（購入済みの方）」を選択します。
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら「はい」を選択します。
5. 「クリックアシスト ライセンス登録」の画面が開くのを確認します。



●2-2.登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（通常手順）

「通常の方法で登録します（インターネット経由で登録）」を選択してください。
弊社ライセンス登録サーバーに接続してライセンスを登録します。

（※登録するパソコンがインターネットに接続していない場合は「登録するパソコンがインターネットに接続していない場合」をご参照ください。）

1. 「通常の方法で登録します」を選択して、次へボタンを押してください。

2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。

3. ライセンス番号を入力して、登録ボタンを押してください。

4. 登録完了のメッセージが表示されたら、OKボタンを押してください。

- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OKボタンを押して、再入力してください。
- 登録サーバーに接続できなかった場合は、画面の下半分に、その旨のメッセージが表示されます。必要に応じて「登録ボタン」または「パスコード登録」ボタンを押してください。

●2-3.登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（パスコード）

通常の登録で、登録ボタンを何度押しても、接続エラーになる場合は、「パスコード登録」という方法で登録できます。パスコード登録をするには「パスコード登録」ボタンを押してください。

※インターネットに接続しているか確認してからもう一度「登録」ボタンを押してください。
 ※何回やっても接続できない場合は「パスコード登録」ボタンを押してください。

Webブラウザの画面

パスコードが取得できました。
 パスコード:12AB

1. パスコード登録ボタンを押してください。

2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。

3. パスコード表示ボタンを押してください（Webブラウザが開きます）。

4. Webブラウザの画面に、パスコードが表示されるので、それをメモしてください。

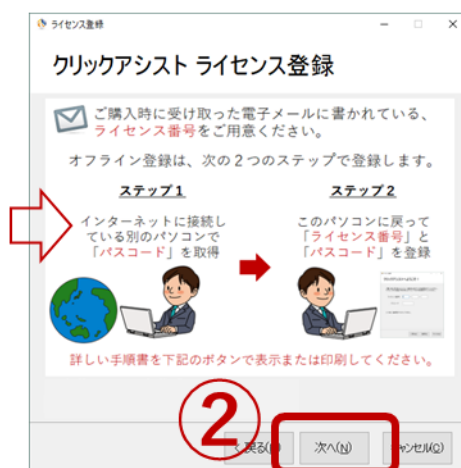
5. Webブラウザを閉じて、ライセンス登録画面に戻り、パスコードを入力して、登録ボタンを押してください。

6. 登録完了のメッセージが表示されたら、OKボタンを押してください。

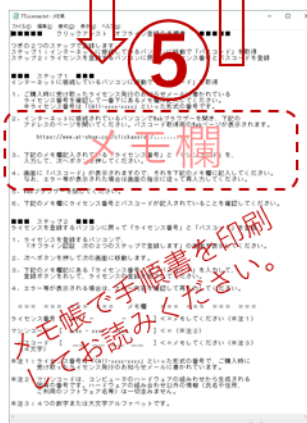
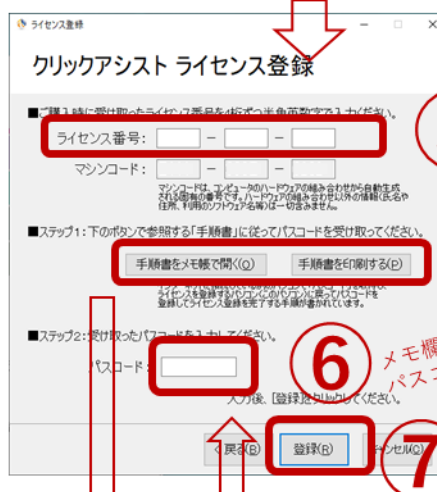
もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OKボタンを押して、再入力してください。

●2-4.登録するパソコンがインターネットに接続していない場合の手順（特殊手順）

インターネットに接続している別のパソコンで、弊社のライセンス登録サーバーにアクセスし「パスコード」を取得します。取得したパスコードを、登録するパソコンに入力することで、ライセンスを登録することができます。詳しい手順は、途中で印刷する手順書に書かれていますので、その手順書にしたがって登録を進めてください。



1. 「特殊な方法で登録します」を選択して、次へボタンを押してください。
2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。
3. ライセンス番号を入力してください。
4. 表示または印刷ボタンで、手順書を印刷してください。
5. 手順書を読んで、パスコードを取得して、手順書にメモしてください。
6. パスコードを入力してください。
7. 登録ボタンを押してください。



- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認して、OKボタンを押してください。

オフライン登録の手順書の印刷例

※この手順書の印刷例に記載されている情報では、ライセンス登録はできません。オフライン登録を行う際は、必ず登録を行うパソコンで表示または印刷を行ってください。

■■■■ クリックアシスト オフライン登録の手順書 ■■■■

オフライン登録は次の2つのステップで登録します。
ステップ1：インターネットに接続しているパソコンで「パスコード」を取得
ステップ2：ライセンスを登録するパソコンに戻ってライセンス番号とパスコードを登録

■■■ ステップ1 ■■■

インターネットに接続しているパソコンで「パスコード」を取得

1. インターネットに接続されているパソコンで Web ブラウザーを開き、下記のアドレスのページを開いてください。パスコード取得用の Web ページが表示されます。

==== ==== パスコード取得用の Web ページ ==== ==== ====

<https://www.at-shop.com/xxxxxxx/xxxxxxx/>

==== ==== ==== ==== メモ欄 ==== ==== ==== ====

ライセンス番号 [xxxx - xxxx - xxxx]

マシンコード [xxxx - xxxx - xxxx]

パスコード [____ ____ ____ ____] <= (書き込んでください)
(4文字)

==== ==== ==== ==== ==== ==== ==== ==== ==== ====

(※) マシンコードは、コンピュータのハードウェアの組み合わせから自動生成される固有の番号です。ハードウェアの組み合わせ以外の情報（氏名や住所、ご利用のソフトウェア名等）は一切含みません。

2. 上記のメモ欄に記載されている「ライセンス番号」と「マシンコード」を、Web ページの画面に入力して、次へボタンを押してください。
3. 画面に「パスコード」が表示されますので、上記のメモ欄に書き込んでください。
4. Web ブラウザーを閉じてください。

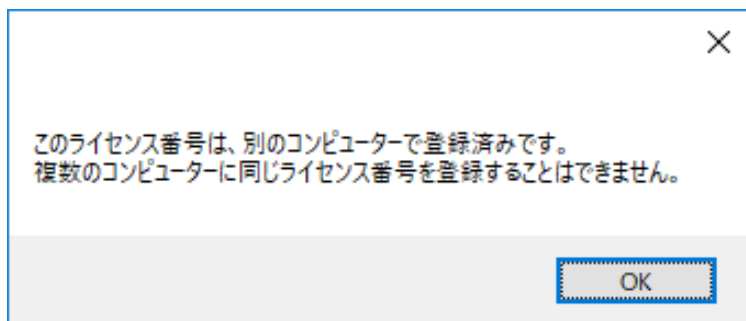
(※) エラーなどが表示された場合は画面の指示に従って再入力等してください。

■■■ ステップ2 ■■■

ライセンスを登録するパソコンに戻って「ライセンス番号」と「パスコード」を登録

1. この手順書を印刷した画面に戻ってください。
(画面が表示されていない場合は、ライセンス登録画面から選択してください)
2. 上記のメモ欄と同じ「ライセンス番号」と「マシンコード」が表示されていることを確認の上、「パスコード」を入力して、登録ボタンを押してください。
(ライセンス番号が表示されていない場合は、ライセンス番号を入力してください)
3. エラー等が表示される場合は、エラー内容を確認して再入力してください。

●2-5.エラー（このライセンス番号は、別のコンピュータで登録済みです）の場合



クリックアシストのライセンス番号は、1台のコンピュータに1つだけ登録できます。複数のコンピュータに1つのライセンス番号を登録して利用することはできません。

新規購入等で、新しいパソコンでご利用になる場合は、古いパソコン（現在登録済みのパソコン）でライセンスの解除をすると、新しいパソコンで再登録できます。なお、故障等で起動できず、古いパソコン（現在登録済みのパソコン）でライセンスの解除ができない場合は、ライセンスのリセットの申し込みをすることができます。

ライセンスの解除・ライセンスのリセットの申し込みについての詳細は、
「[3. ライセンス解除機能について](#)」または、
「[4. ライセンスのリセットの申し込みについて](#)」をご参照ください。

■ 3. ライセンス解除機能について

V2.1.2 から、ライセンスの解除機能が追加されました。新規購入等で新しいパソコンに、ライセンス番号を登録する場合は、あらかじめ、古いパソコンでライセンスの解除を行うと新しいパソコンに同じライセンス番号を登録することができます。ライセンス解除を行わないと別のパソコンでは同じライセンス番号を登録することはできません。また、同じライセンス番号を 2 台以上のパソコンに登録して利用することはできません。

次の手順でライセンスの解除手続きをすることができます。

(ライセンスを登録済みのパソコンで解除手続きを行ってください)

1. メインパネルの設定（歯車マーク）を選択して設定パネルを開きます。
2. 右側に「ライセンス情報」ボタンがあるかご確認ください。
(※ない場合) クリックアシストがダウンロード版で、かつ、バージョンが V2.1.2 より古い可能性があります。最新のバージョンをダウンロードしてインストールしてください。なお、ライセンス登録がされていない場合は「ライセンス情報」は表示されず「有料版登録」のボタンが表示されていますのでご確認ください。
3. 右側にある「ライセンス情報」ボタンをクリックします。
4. ユーザーアカウント制御が開きますので、「はい」を選択します。
5. 「ライセンス解除」ボタンを選択して次の画面へ進みます。
6. ライセンス解除のための注意事項が表示されますのでよくお読みになり、「注意事項を確認しました」のチェックボックスにチェックを入れてください。
7. 「次へ」ボタンを選択して次の画面へ進みます。
8. 最後の確認画面が表示されるので、確認して「解除」ボタンを選択します。
9. 完了ダイアログが表示されたら OK ボタンを押します。

これで解除は完了です。

-
-
10. もし「インターネットに接続できないか、サーバーからの応答がありませんでした」というエラーが表示された場合は、次の手順で再度解除処理を試みてください。
 11. 「インターネットに接続できないか、サーバーからの応答がありませんでした」のエラーダイアログを閉じます。
 12. インターネットの接続を確認して、再度「解除」ボタンを選択します。
 13. それでも、同じエラーが出る場合は、「解除コードによるライセンス解除を行う」のチェックボックスにチェックを入れます。
 14. 再度、「解除」ボタンを押します。
 15. 「このパソコンのライセンスは解除されました」というメッセージが表示されますので、「解除コード表示 (Web ブラウザーが開きます)」のボタンを押します。

16. Web ブラウザーが開いて、その「解除コード」が表示されるので、その解除コードをメモします。
17. Web ブラウザーを閉じて、ライセンス解除画面に戻り、先ほどメモした「解除コード」を解除コード欄に入力します。
18. そして「解除」ボタンを押します。
19. 完了ダイアログが表示されたら OK ボタンを押します。

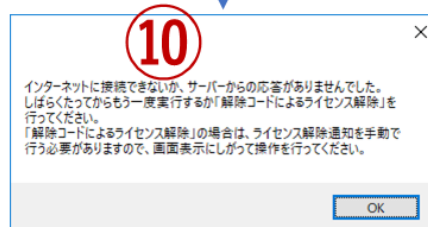
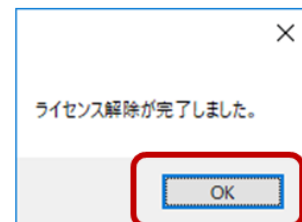
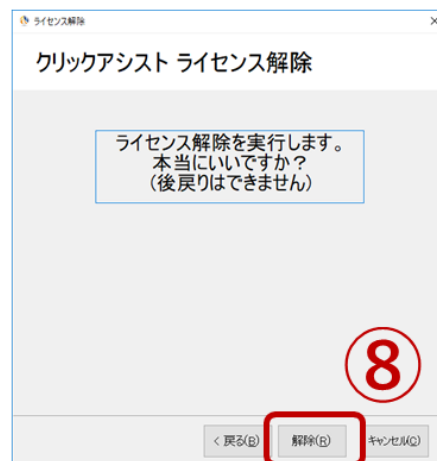
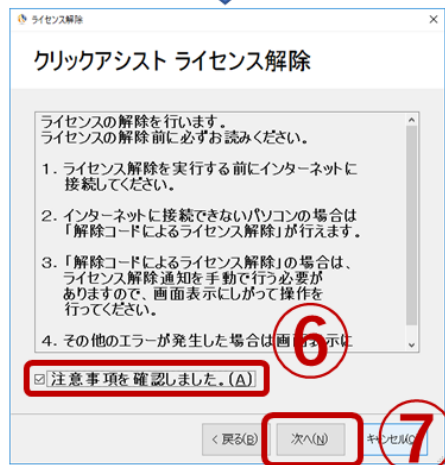
これで解除は完了です。

20. もし、このパソコンがインターネットに接続できないパソコンの場合は、「解除コードを Web ページで表示できない場合」ボタンを押して、「他のパソコンで解除コードを表示する手順を表示する」ボタンを押してください。メモ帳で手順が表示されますので、それをよくお読みになって解除手順を進めてください。

バージョン情報を確認してください。
もしV2.1.2より古い場合は、最新のバージョンをダウンロードして、上書きインストールしてください。
最新のバージョンは下記のダウンロードページからダウンロードしてください。
<http://www.ttools.co.jp/clickassist/download.html>

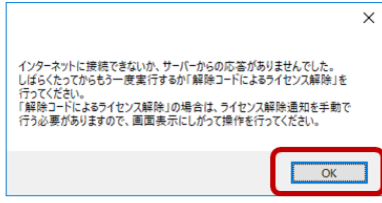
4

(次のページへ続く)



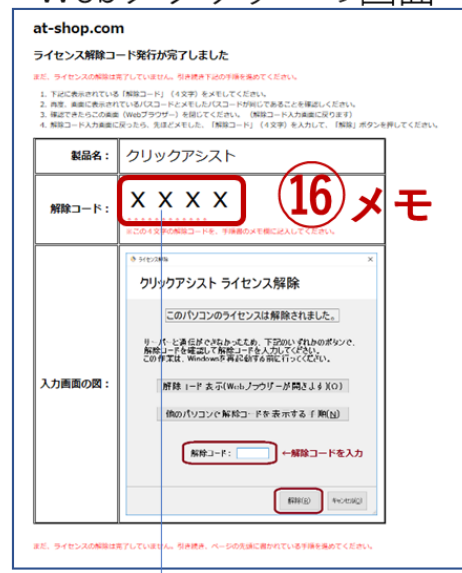
(次のページへ続く)



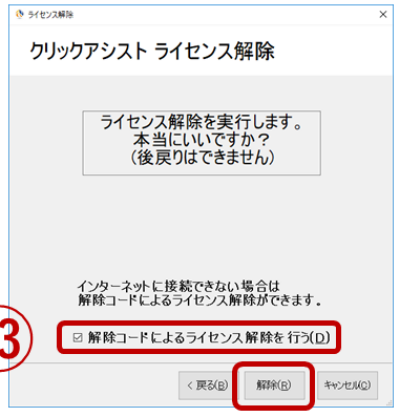


11

Webブラウザの画面

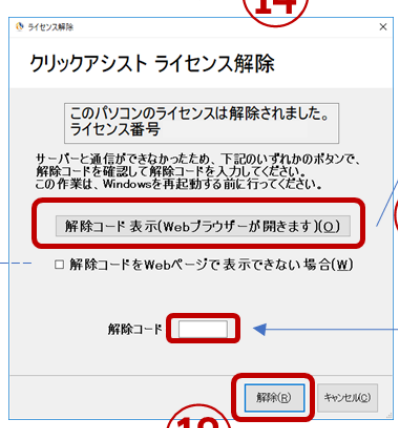


16メモ



13

12



14

15

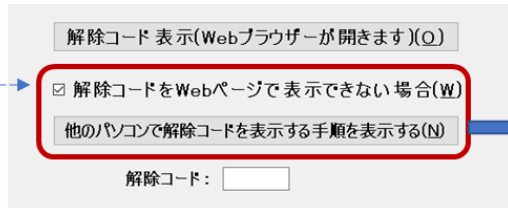
17入力



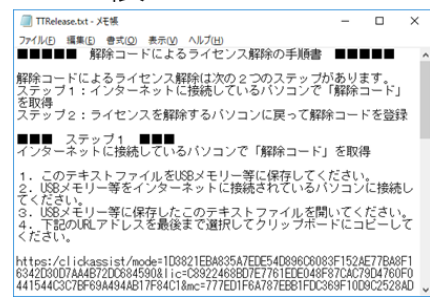
19

18

20



メモ帳



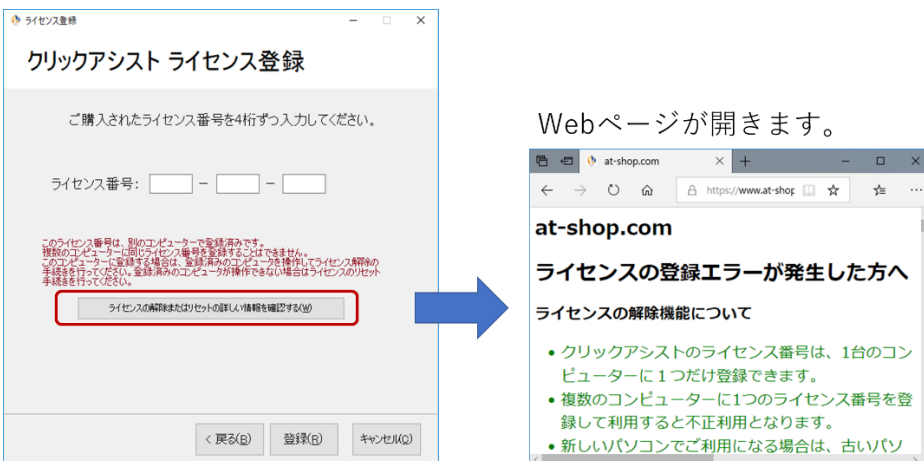
■ 4. ライセンスのリセットの申し込みについて

パソコンの故障等で、古いパソコン（現在登録済みのパソコン）を起動することができず、「ライセンスの解除」ができない場合は、ライセンスのリセットの申し込みをすることができます。

ライセンスのリセットを申し込むにはライセンス証書が必ず必要です。また、ライセンスリセットの申し込みには、ライセンスご利用状況や登録状況について、一定の条件を満たす必要がありますので、あらかじめご了承ください。

ライセンスのリセットの申し込みサイトは、ライセンス登録時に表示される、エラー画面からアクセスできます。「ライセンスの解除またはリセットの詳しい情報を確認する」のボタンをクリックして、詳しい情報や申し込み手順をご確認ください。

（ライセンス登録時に発生するエラー画面）



■ 5. ライセンス登録や解除、更新の確認機能等で送信する情報について

※ライセンス登録や解除、更新の確認機能等では、ライセンス番号、マシンコード、プログラムのバージョン情報を必要に応じてサーバーへ送信します。あらかじめご了承ください。なお、ライセンス番号とは、お客様が入力したライセンス番号です。マシンコードとは、コンピュータのハードウェアの組み合わせから生成される固有の番号です。ハードウェアの組み合わせ以外の情報（氏名や住所、ご利用のソフトウェア名等）は一切含みません。プログラムのバージョン情報とは、プログラムのバージョンを示す数値です。

■■■ソフトウェアの更新履歴

2023年9月12日 (v2.2.0)

- メインパネルとサブパネルの透明表示を、数値で指定できるようになりました。
- マウス強調と待機時間表示について、太い円か細い円を選択できるようになりました。
- クリック動作についてシステムクリックイベントだけでなく、マウスボタンを押す離すのイベントで送信する方式が選択できるようになりました。
- 起動時に更新プログラムの有無を確認してお知らせする機能を追加しました。

2019年8月21日 (v2.1.4)

- 左ボタンでクリックモード機能を追加しました。
- タスクトレイアイコンからの再起動機能を追加しました。
- 高 DPI 表示の時にいくつかの表示が正しくない問題を修正しました。
- 起動時にオンスクリーンキーボードを表示する機能を追加しました。
- かな50音配列オンスクリーンキーボードを表示するときに非常に小さく表示されてしまう場合がある問題を修正しました。
- かな50音配列オンスクリーンキーボードで、マウスがキーの上に来た時に、そのキーをハイライトするかどうかの設定を追加しました。
- ライセンス管理の軽微な修正を行いました。

2018年10月29日 (v2.1.2)

- ライセンス解除機能を追加しました。
- 更新プログラムの確認機能を追加しました。
- パッケージ版に対応しました。

2018年5月21日 (v2.1.1)

- 軽微な修正を行いました。

2018年5月15日 (v2.1.0)

- かな50音配列オンスクリーンキーボード機能が追加されました。日本語を直観的に入力できます。
- 「簡単設定」パネルが追加されました。主な設定を簡単に設定することができます。
- ライセンス登録の画面と手順が変更になりました（すでに登録済みの場合はそのままご利用いただけます）。
- その他、軽微な修正をしました。

2018年1月9日 (v2.0.0)

- 新機能
 - 「サブパネル」の機能を追加しました。クリックしたい位置に移動してからクリック動作を選択することができます。
 - パネルの配色切替機能を追加しました。パネルの配色を配色リストから、ご自身の気分や季節に合わせて、選択することができます。
 - Zono 用のマウス位置リセット機能を追加しました。クリックアシストの設定でこの機能を ON にすると、一定の操作で Zono の基準位置を合わせ直すことができます。
 - 10 分お試し機能を追加しました。無料版でお使いの方向けに、有料版の機能を 10 分間ほど、お試しください。
- 修正
 - 設定画面を機能ごとに「タブ表示」で整理し、設定内容が確認しやすくなりました。
 - Windows 標準オンスクリーンキーボードを閉じる場合は、終了せずに最小化するようにしました。これは、Windows 再起動後にオンスクリーンキーボードが自動で表示されない問題を回避するための変更です。
 - クリックまでの待機時間を 0.5 秒未満、および 3.0 以上の設定項目を追加しました。ご利用の場面に応じて柔軟に設定いただけます。（なお、0.5 秒未満を設定した場合は意図しないクリックが発生することが予想されますのでご注意ください）

2017年4月19日 (v1.5.0)

- 有料版をリリースしました。
- 有料版で利用できる追加機能：左ドラッグ、右ドラッグ、ホイール上、ホイール下、連続操作モード

2017年2月1日 (v1.0.0)

- 無料版をリリースしました。
- 利用できる機能：左クリック、右クリック、左ダブルクリック、Windows 標準オンスクリーンキーボード表示、一時停止、基本設定

以上



=====

※会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

※クリックアシストの機能やヘルプの内容は、予告なく変更されることがあります。

2017/4/14 作成

2023/9/12 改定

© 2017-2023 Technotools Corporation

テクノツール株式会社

<https://ttools.co.jp/>